

くらし塾 さんゆう塾

vol.24

2013春号

●金融教育の現場レポート

「需要と供給って何？」

（子どものやる気を喚起する
金融教育の単元開発）

●連載エッセイ 会計士のやさしいお金のお話ー
公認会計士 山田真哉

日本の貨幣の生い立ち

●そこが知りたい！くらしの金融知識
60歳からはじめる
インターネットバンキング

●巻頭インタビューー

未知を楽しむ
それが登山
そして人生
登山家 田部井淳子





未知を楽しむ
それが登山
そして人生

田部井 淳子

巻頭
インタビュー

登山家

くらし塾
さんゆう塾

vol. 24

●巻頭インタビュー 2

●そこが知りたい! くらしの金融知識 6

60歳からはじめる
インターネットバンキング

●連載エッセイ 11

—会計士のやさしいお金のお話—
〈第8回〉日本の貨幣の
生い立ち

●まんが わたしはダマサレナイ!! 14

外国通貨
買取り詐欺

●ひとり立ち生活、ここがポイント
リスクに備える 17

●委員団体の活動紹介 18

一般社団法人全国地方銀行協会
全国漁業協同組合連合会

●たべもの百面相 20

お菓子

●働く人のライフ&マネープラン 22

介護にかかる費用

●金融教育の現場レポート 24

「需要と供給って何?」
～子どものやる気を喚起する
金融教育の単元開発～

●衣・食・住・遊 あの時代この時代 28

〈第4回〉遊
移り変わる子どもの遊びと場

●知るぼとラウンジ 30

都道府県金融広報委員会 事務局員の活動紹介
金融広報アドバイザーの紹介

●知るぼとホームページ ピックアップ! 32

●おたよりコーナー 33

●都道府県金融広報委員会一覧 34

●知るぼと最前線 35

作文・小論文コンクールの審査結果

●題字 矢田勝美
●表紙イラスト オオノ・マユミ

女性として世界初の

エベレスト登頂者として知られ、
その後も世界各地の最高峰に足跡を
残してきた田部井淳子さん。

あくまで登山を楽しむ愛好家であ
ることにこだわりの

そこから語られる山の魅力は

「山ガール」で知られる

女性の登山ブームを超えて

幅広い層を魅了しています。

今回は、執筆や講演で多忙の中でも
年に数回は世界の山に登る田部井さんに
幸福観、お金観、充実した人生を
過ごすためのヒントを伺いました。



●田部井 淳子（たべい・じゅんこ）

1939年福島県三春町生まれ。昭和女子大英米文学科卒業
69年「女子だけで海外遠征を」を合言葉に女子登山クラブ設
立。75年世界最高峰エベレスト8848mに女性世界初の登
頂に成功。九州大学大学院比較社会文化研究科修士課程修
了。研究テーマは「エベレストの「三問題」」。山岳環境保護団
体・日本ヒマラヤン・アドベンチャー・トラスト所属。著書
『山の単語帳』（世界文化社）など多数。

山の魅力に 衝撃を受けた少女時代

取材場所に田部井淳子さんが現れた。人なつっこ
い笑顔がすぐに広がり、場がほっと和む。話しぶり
もまるで昔からの友人と会うかのように親しみがあ
ふれている。インタビュアーは山小屋で暖炉にあたる
ような温もりの中で始まった。

田部井さんは福島県の三春町で7人兄弟の末っ子
として生まれ、幼年時代は病気がちで運動も苦手
だったという。しかし、野山で遊ぶことは大好きな
少女だった。そんな田部井さんが山の魅力に初めて
出会ったのは小学校4年のときだった。

「夏休みに担任の先生が希望者を那須の茶臼岳に
連れて行ってくれたのですが、見るものや触るもの
のすべてが驚くものばかりでした。まず、夏は暑い
はずなのに山は寒いことにびっくりしました。また
いつも遊ぶ里山は木々が生い茂っていましたが、茶
臼岳は火山のため、途中から岩だらけでゴツゴツで
す。山道の横を流れている川にはお湯が流れ、石で
せき止めれば温泉になることにも感激しました。そ
して登りつめた頂上から見下ろす風景の美しさにと
ても感動しました。『山に登るってこんなに素晴ら
しいことなのか』。それを強い衝撃として感じたのが
この茶臼岳登山でした」と田部井淳子さんは話す。

田部井さんは初めての登山で一気にその魅力に惹
かれた。そしてこのとき覚えた山の感動は今も変わ
らない。「なぜ山に登るか」と問われたら、田部井

さんは「知らない場所があるからだ」と答えると言
う。そこには登山家という自らの限界へ果敢に挑戦
していくストイックなイメージはない。あくまでも一
人の登山愛好者として、未知の世界に対する「行
きたい、見たい、知りたい」という旺盛な好奇心が
原動力となっている。

また田部井さんは茶臼岳に登ったこのときに登山
のあり方自体にも共感をもった。徒競走のように
頂上への順位を競うこともない。もちろん選手（登
山者）の交代もない。体育が得意な友だちと苦手
な自分も一緒に登り、ともに途中の風景や頂
上にたどり着く達成感を味わうことができる。田
部井さんはそんな登山が心底好きになっていた。

困難を乗り越え、 目指した女性だけの世界最高峰

田部井さんは小学4年で登山に魅せられて以
来、機会があるとさまざまな山に登った。そして
昭和女子大を卒業し就職。社会人になった田部井
さんは、その後も登山を繰り返すうちに世界で最
高峰と呼ばれる山々にも登りたいという気持ち
が強まっていく。そういった中で1969年に結成し
たのが「女子登はんクラブ」だった。その合言葉
は「女子だけで海外遠征へ」だった。田部井さん
はあくまで女性だけにこだわった。

「気兼ねのない女性だけのメンバーで海外の山に
登りたいというしかなるようになっていました。女
性と男性では体力も違いますし、体格差がある

分、登るペースも同じではありません。私が男の人と登っていたときは歩幅が違うためいつも小走りでした。それに男女が一緒だと着替えやトイレなどお互いに気を遣い合い、その気遣いの積み重ねがストレスとなり、危険を伴う登山ではリスクにつながることもあります。そのため何度か登山をしているうちに女性だけで登山できるチームがあればと思うようになっていったのです」と田部井さん。目指したのは世界最高峰であるエベレストだった。しかし、そこには数々の困難が待ち受けていた。

まずは許可の問題。当時のエベレストに登るには外務省を通じてネパール政府に申請する必要があった。田部井さんがあえて「女子登はんクラブ」を結成したのも、申請上、明確な組織が必要だったからだ。田部井さんたちは1971年に申請し、翌年72年にネパール政府から1975年の登山許可が下りた。3年も待たされるのには理由があった。それは当時エベレストには1シーズンに1つのチームしか登れないルールがあったからだ。

手続きの次に解決しなければならないのは資金の問題だった。テントやボンベなどのさまざまな機材を用意し、現地スタッフを揃える必要がある。もちろん移動や宿泊にもお金はかかる。そういった経費をすべて試算してみると軽く数千万円を超えた。もちろんそんなお金は自分たちだけで用意できない。田部井さんたちはスポンサー集めに奔走した。しかし、当時は「女性だけ」ということ

だけで賛同してもらえない場合もあった。資金集めの合間を縫ってエベレスト登山隊のメンバーを選び、世界最高峰の登山を可能にするトレーニングや登山計画を練る必要もあった。お互いに平日は仕事もある。時間を捻出しての活動だった。申請が許可されてから3年後に登山、という時間は長いようで短かった。

エベレストをはじめ世界7大陸の最高峰を女性として初めて登る

入念に準備をして臨んだエベレスト。しかし世界最高峰の頂上を極めるのは到底容易ではなかった。テントを飲みこむほどの雪崩や高山病の続出など、続行を危ぶまれるトラブルが幾度もあった。そういつた中で最終的に頂上を目指すアタックメンバーに田部井さんは選ばれた。

田部井さん以外はシェルパが一人。責任の重さがズシリと田部井さんにかかる。しかし、そこにあるのはプレッシャーだけではない。わずかでも足を滑らせれば滑落、遭難という恐怖も隣り合わせにあった。支えになるのはシェルパと自分をつなぐ一本のロープだけだった。

「一歩一歩を確かめるように足を動かし、頂上を目指しました。そして困難の末に頂上にたどり着きました。喜びで熱いものが込みあげてくるはずでしたが、そこにあふれてきたのは『もうこれ以上登らなくていい』、それが正直な気持ちでした。頂上では写真を撮り、8ミリカメラをまわし、記録

を残す仕事がありました。かじかむ手でシャッターを押し、フィルムを入れ替えたことを今でも覚えています」と田部井さんは、女性初のエベレスト登頂者になったときの思いを率直に話す。ようやく感動が湧きあがってきたのは無事下山し、登山隊メンバーとベースキャンプで再会を果たしたときだったと言う。

大変な思いをしたエベレスト登山、その後も田部井さんは世界各国の最高峰と呼ばれる山に登り続ける。見たことも行ったこともないところを自分の足で踏みしめたい。その気持ちはエベレスト以降も変わることにはなかった。そして田部井さんはモンブラン、キリマンジャロなど名だたる最高峰に次々と足跡を残していった。

各大陸の頂点に立ち続けた田部井さんは1992年には女性で世界初の7大陸最高峰登頂者の記録を打ち立てる。しかし、それは決して記録を作るための登山ではなかったと言う。登ってみたい山があった。そのために黙々と準備し、実際に登った結果としてただ世界記録になったに過ぎないと田部井さんは話す。

好きな山登りにお金をかける。いい経験こそ人生の貯金

田部井さんにとって山とは、人生を豊かにしてくれる大切な存在だ。まず山は人を飽きさせない。同じ山でも四季によってまったく違う表情を見せ、新鮮な感動を与えてくれる。また山は日常



田部井淳子

インタビュー

生活への感謝も教えてくれる。山には電気や水道のようなライフラインがない。そこで過ごすことによって、当たり前と思っている便利な日常生活を別の目線で見ることができ、いつもの暮らしに喜びを感じることができる。

大切なのは山を体で感じることでと田部井さんは言う。今や世界のさまざまな場所をテレビやインターネットで見ることができ、それは便利で素晴らしいことだろう。しかし、映像で疑似体験

することと自分の足でそこに立ち、五感で経験することとはやはり違う。自然を全身で実体験できる登山は、自らの人生の中でかけがえのない体験となると田部井さんは話す。

「そんな人生を豊かにしてくれる登山ですから、お金を惜しむことはありませんでした。だから登山の費用を捻出するため、おしゃれなどにはできるだけお金を使わないようにしてきました。洋服などには本当に無頓着で、ブランドなど知らないことだらけですよ（笑）。ある日、年ごろになった娘がバッグを買ってほしいと言ってきました。どんなバッグなのかと聞けば何かブランド名を言っているようです。それは女性なら誰もが知っているブランド名だったのですが、私は知りませんでした。返答に困った私は友人に相談して初めてそれが高価であることを知りました。『高いから我慢しなさい』と返事をするのに随分時間がかかったのを今でも覚えています」と田部井さんは笑う。

「いい経験こそ人生の貯金」、そんな視点を田部井さんは持っている。いい経験は人に良き思い出を残し、その蓄積が人生そのものを充実させる。お金はそのために使う。それが田部井さんのお金に対する考え方だ。

あせらずに待ち、 困難自体を楽しむ

田部井さんは登山を通して試練の乗り越え方も学んできた。それは「待つ」ことだ。

「山は天気がすぐに変わります。突然悪くなることもよくあります。けれどそんなときほど腰をすえて待つ大切さを知ってきました。待てばいずれ悪天候も過ぎ去ります。登山では少々のことが起こっても動揺しないで『あせらず待とうよ』と仲間にも声をかけるようにしてきました」と田部井さん。人生も同じことだと話す。

困難に会えば待てばいい。それもただ忍耐強く待つのではない。同じ待つなら困難自体を「めつたに体験できないこと」と考え、前向きな姿勢でその困難さえも貴重な体験として受け止めるのだ。十分過ぎるほど計画を立てる登山だが、計画通りには行かない。なぜなら相手は自然だからだ。だから起こったことを悔やんでも始まらない。それならば「計画通りに行かないことも計画の内」と考え、田部井さんはプラス思考で捉えてきた。雪で道が閉ざされれば、閉ざされた状況で何ができるかを考え、むしろ楽しむ。そんな田部井さんにとっては試練も「行ったことや見たことのない」山のようなものかもしれない。

今年のお正月も海外の最高峰で過ごし、この夏はまた世界の山へ出かける田部井さん。もちろんその準備には手間も時間もかかり、お金を捻出するためには苦勞もする。しかし、それでも田部井さんは山へ行く。それはまだまだ行ったことがない場所が残っているからだ。今でも世界地図を見てワクワクすると言う。そこに未知があるから楽しめる。好奇心はどんな苦勞も吹き飛ばしてくれる。

そこが知りたい!

くらしの金融知識

60歳からはじめる インターネットバンキング

インターネットの登場は私たちの生活を大きく変化させました。さらに、ここ数年急速に普及しているスマートフォンは、その機能と携帯電話の役割を併せ持つため、非常に手軽であり、高齢者にもネット社会をより身近に感じさせているのではないのでしょうか。こうした背景から、銀行に行かずに銀行を活用するネットバンキングの便利さとお得なサービス、そして活用する上での注意点や相談サービスなどを事例を交えてご紹介します。

・大手都銀だけで3000万超の
インターネット取引口座

ここ数年、自宅のパソコンからインターネットに接続して銀行取引をする人が増えています。これをインターネットバンキングと呼び、利用するには申し込みが必要です。インターネット取引の契約口座数は、大手都市銀行の3行を合計すると、すでに3000万を超えているようです(各銀行のデイクロージャー誌などより)。他の銀行、信用金庫、ゆうちょ銀行などを含めると、たくさんの方がインターネット取引口座を持っていることが分

りますね。

どのような人が、どれくらいインターネットバンキングを利用しているのでしょうか? 全国3400名の一般生活者へのアンケートである、「よりよい銀行づくりのためのアンケート」(一般社団法人全国銀行協会が2012年8月に実施)の結果から、いくつかのデータをご紹介します。

・インターネット調査では、
インターネットバンキングの
利用率は6割以上

銀行取引を行う場所や方法は、銀行の窓口をはじめ、ATM

や、今回取り上げるパソコンを使ったインターネットバンキングなど、いくつかあります。

アンケートの結果によれば、最も多いのは「銀行内のATM」で96・8%が利用しています。次が「銀行の窓口」で92・7%、コンビニエンスストアやスーパーに設置されたATMが69・3%、インターネットバンキングは65・2%となっています(図表1参照)。またインターネットバンキングの利用頻度については、月に1回くらいが17・7%で最も多く、1週間に1回以上が13%と続き、2〜3週間に1回くらいが12・7%などとなっています。

■図表1：利用している銀行チャネル

銀行の窓口	92.7%	スマートフォン向けバンキング	6.5%
銀行内のATM	96.8%	テレフォンバンキング	5.1%
コンビニエンスストアやスーパーなどにあるATM	69.3%	外交員・渉外担当者	10.6%
インターネットバンキング	65.2%	その他	2.7%
モバイルバンキング(スマートフォンを除く)	9.6%		

注：利用は、週に1回以上、2〜3週間に1回くらい、月に1回くらい、2〜3カ月に1回くらい、半年に1回くらい、1年に1回以下の合計。

「よりよい銀行づくりのためのアンケート」(一般社団法人全国銀行協会)より

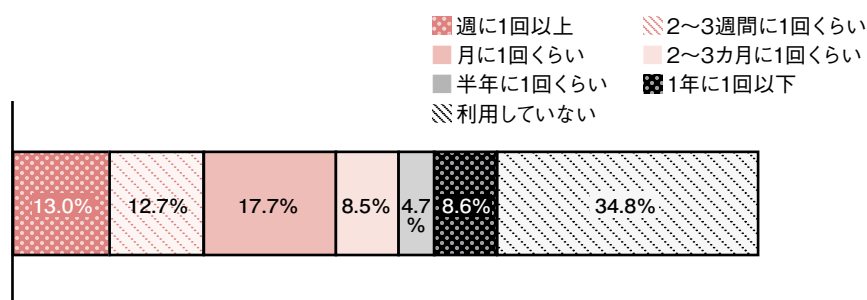
【監修・執筆】

AFP/2級FP技能士

坂本 綾子 (さかもと あやこ)

大学在学中より雑誌の編集に携わり、卒業後に取材記者として独立。1988年より女性誌、マネー誌などで金融に関する記事を執筆。家計管理、保険、資産運用に関する記事をはじめ、銀行の商品・サービスについても雑誌やWEB媒体で多数執筆。執筆に加え生活者対象のセミナー、家計相談も行っている。「お金の教科書」全7巻(小学校高学年から中学生向け金融・経済教育本)の著および監修。2012年より、市民団体「フォスター・フォーラム(良質な金融商品を育てる会)」にて、消費者教育を担当して活動中。

■ 図表2：インターネットバンキングの利用頻度



「よりよい銀行づくりのためのアンケート」（一般社団法人全国銀行協会）より抜粋して作成。

ます（図表2参照）。
いかがでしょうか？この調査はインターネットを使って行われたため、日常的にパソコンやインターネットを使いこなしている人たちのケースといえそうですが、ずいぶん利用が多いと感じる方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

60代以上の利用も少くない

インターネットバンキングの利用について、年齢や性別など、もっと細かく見てみると、次のようなことが分かります。

- ◆ 男性は女性よりも利用頻度が高い
 - ◆ 男性では40代から50代の利用が多い
 - ◆ 女性では30代から50代の利用が多い
 - ◆ 男性は、60代、70代でも、2・3週間～2・3カ月に1回の利用※が4割程度となっている。
 - ◆ 女性は、50代でも、2・3週間～2・3カ月に1回の利用※が4割弱となっている。
 - ※利用頻度が2～3週間に1回くらい、1カ月に1回くらい、2～3カ月に1回くらいの回答比率の合計
- このように、インターネットバンキングを利用しているのは若い世代だけではなく、60歳以上であっても、男性は6～7割程度、女性は4～5割程度が利用していることが分かります（図表3参照）。
インターネットに慣れている人

■ 図表3：男女別、年齢別インターネットバンキングの利用頻度

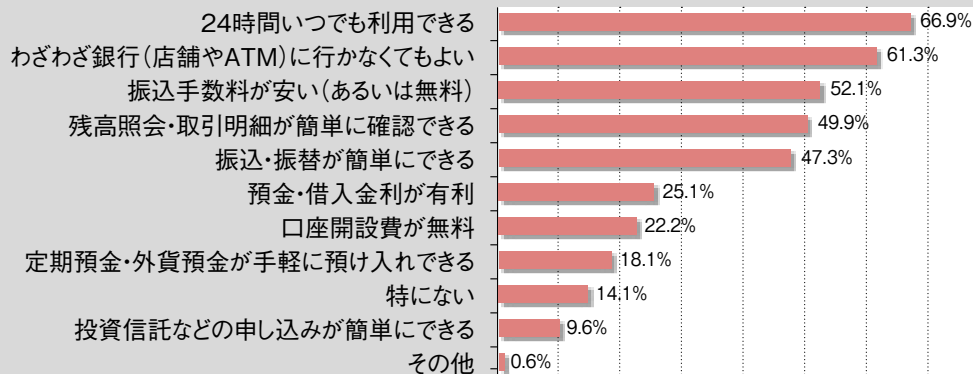
性×年代\利用頻度		週に1回以上	2・3カ月～2・3週間に1回※	半年に1回以下	利用していない
全体		13%	38.9%	13.3%	34.8%
男性	計	17%	45.2%	12.6%	25.2%
	18～29歳	13.9%	39.6%	9.4%	37.2%
	30～39歳	17.0%	47.8%	12.5%	22.8%
	40～49歳	19.4%	50.0%	14.2%	16.3%
	50～59歳	16.5%	52.7%	15.4%	15.4%
	60～69歳	17.4%	44.0%	11.9%	26.6%
	70～79歳	18.4%	34.2%	12.2%	35.2%
女性	計	9.0%	32.7%	13.9%	44.4%
	18～29歳	6.0%	19.8%	9.9%	64.3%
	30～39歳	7.1%	39.1%	14.9%	38.8%
	40～49歳	11.6%	39.3%	17.8%	31.3%
	50～59歳	12.3%	36.8%	15.8%	35.2%
	60～69歳	9.5%	35.3%	11.8%	43.5%
	70～79歳	7.6%	24.7%	13.9%	53.8%

※利用頻度が2～3週間に1回くらい、1カ月に1回くらい、2～3カ月に1回くらいの回答比率の合計
「よりよい銀行づくりのためのアンケート」（一般社団法人全国銀行協会）より

たちには、このような形で利用されているインターネットバンキングですが、どのようなメリットがあるのでしょうか？同じ調査の中に「魅力を感じるインターネットバンキングのメリット」という質問があるので、回答を見てみると…。

- ◆ 24時間いつでも利用できる
- ◆ わざわざ銀行（店舗やATM）

- ◆ 振込手数料が安い（あるいは無料）
 - ◆ 残高照会・取引明細が簡単に確認できる
 - ◆ 振込・振替が簡単にできる
- が上位に挙がっています（図表4参照）。
これらはまさにインターネットバンキングが持つ特徴でもあります



■図表4：
魅力を感じるインターネット
バンキングのメリットは？

「よりよい銀行づくりのためのアンケート」(一般社団法人全国銀行協会)より

す。インターネットバンキングでできることをまとめると次のようになります。

インターネットバンキングでできることは？

インターネットバンキングとは、主に自宅のパソコンをインターネットにつなぎ、銀行が提供するサービスサイトにログインして行う銀行取引のことです。店舗を過ぎず直接取引することから「〇〇ダイレクト」というサービス名を使うところが多くなっています。こうしたサービスに申し込むと、パソコンのインターネットバンキングに加えて、携帯電話でのモバイルバンキングや、最近ではスマートフォンを活用したインターネットバンキングができるようになっていきます。

インターネットバンキングでできる取引は、銀行により、またどの端末を使うか(パソコンか携帯電話かスマートフォンか)により異なりますが、代表的なものは次の通りです。

- ◆ 残高照会・入出金明細の照会
- ◆ 振込・振替
- ◆ 定期預金の作成・解約

- ◆ 外貨預金の預入・解約
- ◆ 投資信託の購入・解約

住所変更の届け出や、公共料金振替の申し込みができる銀行もあります。

また、鉄道やバスの乗車、ちょっとした買い物に電子マネーを使う人が増えていますが、銀行によってはインターネットバンキングでモバイル型電子マネーのチャージができるところもあります。

インターネットバンキングには3つのタイプ

インターネットバンキングは次の3つのタイプに分けることができます。

銀行などが提供する 取引サービスとしての インターネットバンキング

都市銀行、地方銀行、信用金庫などでは、従来からの窓口やATMと並行して、インターネットバンキングのサービスを提供しています。すでに口座を持つ人も、利用するには申し込みが必要です。窓口や電話、インターネットで申し

込みます。最近は口座開設の際に合わせて申し込むよう勧められることが多いようです。

インターネット支店での インターネットバンキング

インターネット上のお店でネットショッピングを行う人が急増していますが、銀行の中にはインターネット上にインターネット支店を出しているところがあります。実在の店舗はなく、原則インターネットでの取引が中心。バーチャルな店舗ゆえに維持費や人件費などが割安に済むことから、実在の店舗よりも金利を高め設定した定期預金などを提供しています。インターネット支店の口座開設は、インターネットや電話で申し込みます。

インターネット専門銀行の インターネットバンキング

原則として実在の店舗を持たず、インターネットを利用して取引を行う銀行です。ここ10年ほどで新規開業が相次ぎました。それぞれに特徴のある商品・サービスを競い合っています。口座開設の

申し込みもインターネットで行います。

どんなふうに使われている？

幅広い世代の人が利用しているインターネットバンキングですが、実際に利用している人の感想を紹介しましょう。60代の利用者に、始めたきっかけや実際の利用法をうかがうと…。

東京都在住のOさん（男性、68歳）は、65歳で退職し、その後は地域活動にかかわるなど活発に過ごしています。

「60歳を過ぎていましたが、インターネットバンキングはまだ現役時代に始めました。きっかけはキャンペーンがあつて銀行員から勧められたことでした。銀行に行かなくてもよく、時間的にいつでも使えることに魅力を感じました。以前からインターネットショッピングの経験があつたので、インターネットを利用することへの抵抗感はありませんでした。それ以来かなり使っており、重宝しています」

退職後、日常的なお金の管理を自分でするようになってからは、より利便さを実感しているという

ます。

「入・出金のデータをダウンロードして自分なりの出納帳を作成しています。毎月の定期的な支払いはもちろん、キャッシュカードでの出金やクレジットカード支払いの金額を確認します。出金や、引き落としが多いと今月は外出が多かったことが分かります」（Oさん）。

そして、Oさんがもつとも気をつけているのはパスワードの管理です。

「安全のために定期的にパスワードを変更しています」

目的別にインターネットバンキング口座を使い分け

やはり現役時代からインターネットバンキングを利用している東京都のMさん（男性、65歳）は…。

「勤務していた会社で、給料の振込先を第3口座まで指定できるようになったこと、立替交通費や出張費用などを電子申告し、受け取りが口座振込になったことなどがきっかけです」

Mさんは現在、都市銀行1行、インターネット専門銀行2行にインターネット取引口座を持っている

そうです。

「家計管理、資産運用など口座を目的別に分けて使っています。都市銀行、インターネット専門銀行のそれぞれの特長や便利な機能を『いいとこ取り』して活用しています。重宝しているのは振込手数料の無料サービスとポイントサービス。また深夜や土日振込や振替の手続きができるメリットは大きいです。外貨預金や銀行取り扱いの投資信託も利用しています。証券会社と連携した口座も便利ですね」（Mさん）。

振込手数料の割引幅や、無料になる一カ月当たりの所定回数などのサービスは銀行によって違うので、インターネットバンキングを申し込む際に、その銀行がどんなサービスを行っているか確認する必要があります。

銀行では、預金のみならず投資信託や保険も取り扱うようになりました。株式の売買注文はできませんが、金融商品仲介により銀行のインターネット取引口座と証券会社のインターネットトレード口座を連携させるサービスも提供されています。Mさんが利用しているのは、この金融商品仲介による

取引です。

まずは生活口座で使ってみる

インターネットバンキングを使ってみようという場合、最初は日常的な取引を行っている口座での利用を検討してみることが考えられます。

インターネットバンキングには3つのタイプがあることを先に述べました。その中の「銀行などが提供する取引サービスとしてのインターネットバンキング」にあたります。窓口やATMはこれまでと変わらずなく利用でき、さらにインターネットバンキングも併用できます。検討の結果、インターネットバンキングの申し込みをした場合には、せっかくですから、慣れるためにも、パスワードを忘れないためにも、時どきは使うようにしましょう。入出金の明細照会を利用して月末に1カ月分のお金の出入りを確認してみる、振込の必要が生じたときにチャレンジしてみるのいいですね。慣れてきたら、ほかの銀行のインターネットバンキングサービスなども見比べて、インターネット支店やインターネット専門

銀行の利用などを考えてみるのもいいでしょう。

困ったときの相談先は?

インターネットバンキングを始めてみたら、「分からない」「困った」ということが起きるかもしれません。何ができなくて、何が分からなくて困っているのか、原因に応じて相談先は異なります。

● パソコンの操作が分からないのであれば、パソコンのメーカー。パソコンの説明書で連絡先を探しましょう。

● インターネットの接続がうまくいかないのならインターネットのプロバイダ。契約書で問合せ先を確認しましょう。

● インターネットバンキングの画面にログインできない、パスワードを忘れた、ログイン後の操作方法などについては、インターネットバンキングを申し込んでいる銀行。インターネットバンキング専用フリーダイヤルが銀行のサイトや、操作方法の冊子などに記載されています。

● 残高が合わない、偽のサイトに誘導されたのではないかなど金融

犯罪に巻き込まれた不安があるなら、取引銀行と警察に相談をしましょう。

慣れないと、ちょっとした操作方法で戸惑ったりするものですが、家族や知人でインターネットを利用している人が身近にいれば聞いてみてはどうでしょうか。男女ともに30代〜50代のインターネットバンキング利用率は高く、仕事でパソコンやインターネットを利用する人も多い世代です。

これからのインターネットバンキングはどうなる?

インターネットバンキングで、最近のもっとも大きな変化は、スマートフォンでのサービス提供です。スマートフォン急速な普及に足並みを合わせるように、ほとんどの銀行がスマートフォン専用画面で対応するようになりました。利用できる取引サービスも順次、拡充されています。

スマートフォンでのインターネットバンキングは、従来の携帯電話のモバイル（インターネット）バンキングとは異なり、携帯電話兼用であってもインターネットへの接続

の仕組みはパソコンと同様ですから、安全対策として必ずセキュリティソフトを導入しておくことが大事です。パソコンの場合はもう常識ですが、スマートフォンの安全対策はまだという人も多いのではないのでしょうか。利用の前に必ず導入しましょう。インターネットバンキングを行う端末は、現在はまだパソコンが主流ですが、今後はスマートフォンでの利用が増えていきそうです。

今後が増えることが予想されるインターネット取引口座

インターネットショッピングの利用者や利用額は、ますます増えることが予想されています。代金の決済方法として、クレジットカードのほか、インターネットバンキングによる銀行口座からの決済を利用できるショッピングサイトが増えていきます。

また、電子マネーの利用も伸びています。インターネットバンキングによる電子マネーへのチャージサービスが本格的に普及するのは、まだこれからですが、バーチャルなお金である電子マネーは、インターネットというバーチャルな空間

での銀行取引と相性がいいと思われます。

インターネットショッピングや電子マネーなど、これからその利用が伸びると考えられるさまざまなサービスに連動することができるようになるインターネットバンキング。試してみても慣れておけば、中高年の方々にとつても、役立っていかうか。

インターネットバンキングを利用する際に気をつけたいこと

- ☐ 利用するパソコン・スマートフォンには必ずセキュリティ対策ソフトを導入し、常に最新の状態にしておく
- ☐ 銀行などを偽装したホームページやメールによりパスワードなど個人情報を入手し悪用する「フィッシング詐欺」に注意する
 - 取引する銀行サイトを、お気に入り登録しておく
 - 心当たりのない電子メールは開かない、電子メールのリンクからログインしない
- ☐ 取引の際は、安全のためのSSL暗号化通信の証明である鍵アイコンを確認する
- ☐ ログインの際に使うパスワードは、類推されやすいものを選び、きちんと管理する



日本の貨幣の生い立ち

公認会計士としても作家としても活躍されている山田真哉さん。
連載の最終回は日本の貨幣の黎明期とその発展についてです。
意外な事実に気付かされます。

2年にわたって続いた連載「会計士のやさしい
お金の話」も、とうとう最終回である。

今回は、私が好きな「歴史」について語らせて
いただきたい。お金の視点から見ると、学校で習っ
た日本史もまったく異なるものに見えてくる、と
いうのが最終回のテーマである。

たとえば戦国時代。この時代が「日本の『貨幣』
の歴史における一大転換期であった」という事実
は、あまり知られていないのではないだろうか。

その核心に迫る前に、戦国以前の日本の貨幣
史がいかなるものであったか、簡単におさらいし
よう。

**試練にさらされた
貨幣経済のあけぼの**

まず、飛鳥時代に国内最初といわれる金属貨

幣「富本銭」が生まれた。そして、平城京の建
設費を捻出するために発行されたのが「和同開
珎」である。これらがあまりに有名なため、日本
では国産の貨幣が絶えず流通していたと思ってい
る人もいる。だが、実は国産貨幣の歴史は平安前
期にいったん終焉を迎えている。原料である銅の
枯渇や貨幣政策の失敗などが原因だ。

そして金属貨幣を失った日本は、絹や布を貨
幣代わりにする「物品貨幣」の時代へと逆戻り
してしまう。この逆行は世界史的に見ても珍しい
現象である。

そして、日本が再び金属貨幣を手にするのは、
平安末期。平清盛が、中国の貨幣である「宋銭」
を輸入し日本の通貨として使用する政策をとった
のだ。この宋銭は、朝廷や鎌倉幕府の反対にもか
かわらず民間主導で爆発的に普及し、その後の

山田 真哉 やまだ・しんや

公認会計士・税理士。1976年兵庫県神戸市生まれ。大
阪大学文学部史学科卒業。大手監査法人を経て、現在、
会計事務所所長。企業のCFOや政府の委員、経済ドラ
マのブレーン等も務める。

代表作は160万部突破の『さおだけ屋はなぜ潰れない
のか?』など。会計ミステリー小説『女子大生会計士の
事件簿』はシリーズ100万部を突破し、TVドラマも放映
された。現在、NHK総合『ビジネス新伝説 ルソンの壺』、
BS11『宮崎美子のすずらん本屋堂』などにレギュラー出
演中。最新刊は、『問題です。2000円の弁当を3秒で
『安い!』と思わせなさい』。



鎌倉・室町時代の経済発展を支え続けた。

ところが戦国時代、貨幣の世界は大混乱期を迎える。これまで貨幣普及の原動力となっていた「銭の価値はすべて同じ（1枚＝1文）」というルールが崩壊してしまったのだ。結果的に日本で流通する銭は多岐にわたり、それぞれに「1枚＝0.5文」、「1枚＝0.1文」といった異なるレートがつけられ、円滑な取引を阻害するようになってしまった。

こうした貨幣の混乱は経済に影響を与えただけではなく、領主たちの統治能力をも問うことになった。

実は、ここで見事な経済手腕を見せたのが、全国統一の先駆けとなった織田信長と徳川幕府を完成させた三代将軍徳川家光である。

一大転換期にあった戦国の貨幣経済に立ち向かった、彼らの活躍について、少し詳しく見てみよう。

国内での固定為替レートを導入した信長

戦国時代は、銅銭だけでも40種類以上が乱立し、金や銀、布や米も貨幣とされたという日本史上、稀有な時代である。この貨幣の乱れは、何の原因だったのか。

平安末期より、銅銭は自国では作らず、中国からの輸入に頼ったことは先にお話した。そのため、室町時代中期に中国が銅銭から銀を中心

とした貨幣制度にシフトし、銅銭を作らなくなった結果、日本は銭不足に陥ってしまったのである。

日本が中国の通貨政策の影響をもろに受けた形であり、現在の世界経済が、アメリカの政策の



影響を大きく受けてしまう点によく似ている。

有名な「応仁の乱」という内乱が1467年にあるが、これも銭不足を原因とする、細川家と大内家との間の銅銭輸入を巡る争いという側面もあったのだ。

その後、銭不足は「撰銭（えりぜに）」という行為を生んだ。撰銭とは、売買の際に銭貨を「えり好み」することである。それまではどんな銅銭でも価値は「1枚＝1文」だったのが、銅銭に書かれた銘文や形によって、1文以下の銅銭が大量に発生したのだ。

「撰銭」の原因には諸説あるのだが、私は銅銭の価値に差をつけることで、商人たちが独自に通貨供給量を調整し、インフレやデフレに傾いた経済を安定させようとしていたのではないかと見ています。つまり、いまの日銀のような役割をそれぞれ独自に果たそうとしていたのだ。これが、戦国時代初期の話。

しかし、撰銭が進むと、取引のたびに手間がかかり、銭が忌避されるようになってくる。銭が流通しなければ、商売はさらに不便になり経済活動も滞る。そのため、各地の戦国大名は撰銭を規制する法律を出すのだが、その中でも一番革新的な法律を出したのが織田信長であった。

それまでの一般的な法律では「××という銭の使用を禁止する」、「△△という銭は支払額の3割まで混ぜてもよい」といったものだったが、信長は、「銭を4つのグループに細分化し、おの

おのレートを決める」という『為替レート』の概念を追加したのだ。

為替レートは民間の撰銭でも使われていたが、人によって基準が異なるうえ、日々レートが変動する不安定なものだったと思われる。信長はこの無秩序な現場ルールを統一し、安定した「固定相場制」を導入したのである。

こうして信長は、他の戦国大名よりも一歩抜け出した存在になっていった。

なお、時代劇で信長が登場したら、ぜひ織田軍の旗印を見てほしい。旗には、永楽銭という銅銭が描かれているはずだ。信長がどれだけ貨幣政策を重視していたかがわかる一例である。

銅銭復活を成し遂げた 徳川家光

平安時代に途絶えた「日本独自の銅銭」を、700年ぶりに復活させたのは徳川家である。「寛永通宝」という名を、ご存じの方も多いのではないだろうか。銭形平次でおなじみの銅銭である。徳川幕府の成立時に権威の象徴として作られたと思われるが、実は、その登場は三代将軍・家光の時代になってからである。

なぜ家康や秀忠が作ろうとしなかった日本独自の銅銭を、家光が復活させたのか？

その理由の一つに、「海外への銅銭の大量輸出」が挙げられる。

日本は、戦国時代半ばまでは銅銭を輸入に頼っ

ていたが、国内の鉱山開発が進んで銅が大量産出されたため、各地の大名や民間人によって、中国銭をマネた銅銭が大量に作られるようになった。その結果、江戸時代初期には、逆に日本が銅銭の輸出国になっていたのである。それも、品質が極めて高かったため、日本やオランダの商人たちが大量に買い付けて東南アジアに輸出していた。

しかし、銅銭の大量輸出が続くことは、すなわち国内の銅資源の大量流出である。銭不足を引き起こしてしまった当時は銅銭のほかに金貨・銀貨も存在していたが、少額決済の場において銅銭は欠かせなかったのだ。

これを食い止めるには、銅銭の輸出を禁止するとともに、外国で流通しないよう、中国銭のマネではない独自の銭を作る必要があった。そこで家光は、1635年に日本人の海外渡航・帰国を禁止（朱印船貿易の終了）、翌年に寛永通宝を発行、さらにその翌年には銅の輸出を全面禁止したのである。そして、1639年には鎖国が完成する。鎖国には、新たに構築された貨幣システムに、銭の流入など海外からの経済的影響を排除する目的があったのだ。

さて、寛永通宝の発行にはもう一つの理由がある。それは、1635年の「参勤交代の義務化」である。参勤交代は、長期にわたって大人数が旅することで食事や宿の代金が大変な額になるうえ、宿場町などでその都度、少額決済をしなければならぬ。これをスムーズに実施させるため

日本の貨幣の生い立ち 連載エッセイ 会計士のやさしいお金のお話

第8回



に、幕府は大量の銭を用意する必要があったのだ。そして、大量であるだけではまだ足りない。全国で価値が統一された銭がなければ、大名は江戸までの道中、通過する地域ごとに通用する銭を用意しなければならない。

こうした背景により、家光は旧来の銭を廃止して、寛永通宝のみを法定通貨としたのである。なお、寛永通宝は明治時代中期まで使用されることになる。

「寛永通宝」、「鎖国」、「参勤交代」。授業で丸暗記した一見バラバラな事柄も、背景を知ればすべてがつながる。これが、お金から歴史を見る利点の一つなのである。

わたしは ダマサレナイ!!

第20話 外国通貨買取り詐欺

●監修 中谷 薫 (なかに・かおる)

横浜市消費生活総合センター／消費生活専門相談員

このコーナーで紹介するまんがは、実際に起きた事件をもとに、その「だましのシーン」を再現したものです。
なぜだまされてしまうのか？
ここで再現する巧みな策略に、その秘密が隠されています。
「私だけは大丈夫!」
なんて甘く考えてはいませんか？
実はそう考える人こそ被害に遭いやすいのです。



「外国通貨を買い取る」と言って買わせ、
実際は買い取らないという詐欺

ここ数年、聞きなれない外国の通貨を、あとで高値で買い取ることを装い、利殖商品として購入させながら、実際のところ買い取らない詐欺が増加しています。被害者は日本国内の銀行や両替所では取り扱われていない外国通貨を著しく不利なレートで買われます。主要な為替市場で取引されていない外国通貨は為替レートが分かりませんが、税関の外国為替換金レート等を参考に算出してみると、実際の価値の100倍〜300倍、通貨によっては2000倍以上で買わされています。被害に遭ったことに気づいても、それらの外貨は日本国内では換金が困難なので、紙幣だけが残ってしまい、買わされた人は大きな被害を被ってしまうのです。

ポイント1

「封筒の届いた人でないと買えない外貨」という電話

今回の詐欺はほとんどの場合、自宅に「色のついた封筒が届いていませんか。届いたら連絡をください」という電話から始まります。その封筒には、あまり聞いたことがない国の通貨の両替申込書が入っており、電話をかけてきた業者はその通貨がほしいのだが、封筒が届いた人でないと買えないというのです。

この段階のポイントは、「封筒は選ばれた人にしか送られてこない」と強調し、封筒が届くのは幸運な人、と思込ませることです。そして、封筒は「黄色」、「緑色」、「水色」など、色付き、であると伝え、色を印象づけることで、被害者の記憶に残すよう演出します。



ポイント2
高値で買い取るので
代わりに買ってほしいと勧誘され購入

電話をしてきた業者の言ったとおり色付きの封筒が2、3日後に別の会社から届きます。そこにはある国のことを紹介したパンフレットと両替申込書が入っています。両替単位は、1口15万円などとなっており、「貧しい国だが豊かな資源があり、将来必ず大きく成長する。その時は通貨の価値も大きく上がる」など、その国の通貨の価値が上昇することを謳っている場合がほとんどです。パンフレットが届いたことを、電話をかけてきた業者に連絡すると、業者は「代わりに買ってもらえば数倍で買い取る」などと言います。被害者は「なぜお宅が直接買わないのか?」とごく自然な疑問を持つのですが、言葉巧みな勧誘と、封筒が送られた人しか購入できない、高値で買い取る、という文句を鵜呑みにしてしまうのです。

ポイント3
振り込むと「状況が変わった」として
追加購入を促されてしまう

業者はパンフレットの価格の数倍で買い取りたいが、「1口では買い取れない」、「10口が最低ロット」などと言ってきます。被害者はどうせ儲かるなら・・・とパンフレットを送ってきた会社に10口分をFAXなどで申し込んだ後、代金を銀行に振り込みます。

しかし買い取りを持ちかけた業者は「彼の地で内紛が起きた」「政変により状況が変わった」「われわれもリスクがあるので少しでも口数の多い取引をしたい」など適当なことを言っ



この物語はフィクションです

乗って、2〜3回と繰り返しその外貨を注文し、結局のところ200万円近くを買わされてしまふパターンが多くなります。

ポイント4

外貨は届くが買取りは実行されない 換金困難な外貨だけが残る

購入した外国の通貨(紙幣)はほとんどの場合、手元に届くようです。しかし、買取りが実行されることはありません。今回の外貨詐欺のケースは、返金交渉をするとなると、交渉相手はパンフレットを送ってきた外貨を販売した会社になりますが、その会社には被害者が自分から申し込んでおり、その一方では、その会社とは直接接触していないことも多く、また、実際に被害者に接触しているという嘘を言ったのは最初に電話してきた別の業者なので、返金交渉はとても難しくなってしまうのです。

結局、購入した価値のない紙幣だけが残ってしまい、しかも日本国内では換金しにくい、またはできないので、どうしようもありません。

★今回ご紹介した外国通貨買取り詐欺は、複数の業者が登場する劇場型勧誘です。高齢者が被害者となる場合が多く、過去に未公開株や社債などの投資被害に遭った人が再び被害に遭うことも多いようです。

こうした被害に遭わないためには、「自分だけが儲かる」というようなうまい儲け話には絶対に乗らないことです。また相手の言うことを鵜呑みにしないことが大切です。

困ったときや変だと思ったときは、早めに最寄りの消費生活センターに相談しましょう。

「詳しい情報やご相談」

- 全国の消費生活センター
- 国民生活センター ホームページ

リスクに備える

扶養家族であった学生のころと違い、社会人としてひとり立ちするにあたっては、さまざまなリスクに自分自身で対処しなければなりません。病気やケガ、交通事故、失業…さまざまなリスクにどう備えたらよいのでしょうか。今回は、主なリスクとその対処法、相談できる機関について紹介します。

病気やケガに備える

春は新生活がスタートする季節。新社会人として働きはじめる人も多いでしょう。今まで扶養家族だった人も、企業などに就職することによって自分自身が健康保険の加入者（被保険者）となり、保険料が給料から天引きされます。被保険者には一人一枚、カード型の健康保険証が交付されますので、なくさないように大切に保管しましょう。

業務以外の原因による病気やケガなどの場合、健康保険を扱っている病院や診療所で、保険証を提示

健康保険給付の種類と内容

区 分	給付の種類
病気やケガをしたとき	被保険者 療養の給付 入院時食事療養費 入院時生活療養費 保険外併用療養費 訪問看護療養費
	被扶養者 家族療養費 家族訪問看護療養費
	療養費 高額療養費 高額介護合算療養費
	家族療養費 高額療養費 高額介護合算療養費
	移送費 家族移送費
立て替え払いのとき	傷病手当金
緊急時などに移送されたとき	傷病手当金
療養のため休んだとき	傷病手当金
出産したとき	出産育児一時金 出産手当金
死亡したとき	埋葬料(費) 家族埋葬料
退職したあと(継続または一定期間の給付)	傷病手当金 出産手当金 出産育児一時金 埋葬料(費)

することによって医療費の3割の自己負担で診療を受けることができます。重い病気などで手術や長期入院をしたときなど、医療費の自己負担額が高額となった場合は、自己負担限度額を超えた部分が払

加害者となるリスクに備える

クルマを運転したり、バイクに乗る人は交通事故の加害者となるリスクも頭に入れておく必要があります。

い戻される「高額療養費制度」があります。また出産の場合は出産育児一時金に加え出産手当金が支給されます。所属している事業所が加入している健康保険組合の保険給付内容などを一度チェックしておくといでしょう。

業務中または通勤中の事故やケガの場合は労働者災害補償保険（労災）の補償を受けることができます。

こうしたリスクに備えるために、自動車損害賠償責任保険（自賠責保険）や自動車保険があります。自賠責保険は、自動車やバイクを持つ人すべてに加入義務がありますが、車検のない250CC以下のバイクでは更新手続

きを忘れていたケースが少なくないので注意しましょう。また、自賠責保険は、被害者を救済するための最低限の補償であって、実際に事故の加害者となった場合に高額な賠償をカバーできない可能性があります。万に備え、自分で自動車保険にも加入しておくのが一般的です。

最近では自転車での事故も増えており、歩行者にケガをさせてしまった場合など高額の賠償金を支払わなければならないケースもあります。普段よく自転車に乗る人は、自転車用の傷害保険への加入も検討したいものです。

自動車保険の種類

相手への賠償	対人賠償保険
	対物賠償保険
運転者や同乗者などの補償	人身傷害補償保険
	自損事故保険
	搭乗者傷害保険
車の補償	無保険者傷害保険
	車両保険

※上記の保険を組み合わせで契約します

さまざまなリスクに備えて、日ごろからの貯蓄や万が一に備えた保険など、資金面の準備を心がけておきたいものです。

委員団体の活動紹介

一般社団法人
全国地方銀行協会

地方銀行は地元のお客様への
金融サービスの提供を通じ、
活力ある地域社会の実現を目指しています。

一般社団法人全国地方銀行協会（以下、「地銀協」）は、地方銀行64行を会員とする団体です。

地方銀行は、本店が所在する都道府県（地元）における割合が、店舗総数7500店の約8割、預金総額220兆円の約9割、貸出金総額160兆円の約7割にのぼる地域金融の中核的な担い手として、地元のお客様への円滑で安定した金融サービスの提供に尽力しております。

また、地方銀行は、地方公共団体・地元大学等の外部機関とも連携しながら、地域産品・産業の活性化のための商談会の開催、地域の新産業・新事業創出に向けた産官学連携の支援、中心市街地活性化事業の支援など、地域全体の活性化や持続的な成長を視野に入れた取組みを通じて、活力ある地域社会の実現を目指しています。

地銀協では、全国を網羅する会員銀行のネットワークを活用し、会員各行の取組みへの支援を行っています。その活動の一例を

ご紹介します。

（1）会員銀行の連携による金融サービスの提供

会員銀行が設置した約3万5000台のATMネットワーク網を活用し、お客様が地方銀行のどのATMからでも預金の引出しなどが可能となるサービス（全国カードサービス「ACS」）を提供しています。また、東日本大震災の発生時には、遠隔地に避難された方が避難先の銀行で預金の払戻しができる仕組みの整備に協力しました。

（2）「地方経済天気図」の公表

全国11地域の毎月の経済状況の好不調を「晴」から「雨」までの5段階のお天気マークで表した「地方経済天気図」（下図参照）を取りまとめ、地銀協のホームページ（<http://www.chiginkyo.or.jp/>）に公表しています。

（3）会員銀行の取組みの取りまとめ等

地域密着型金融への取組みなど、会員銀行の様々な取組みを取りまとめ、公表して

います。また、各種災害発生にあたり、全国の地方銀行が送金の受付窓口となる災害義援金制度（送金手数料無料）を運営しています。

地銀協は、地方銀行64行への支援を通じ、地域経済を支え、その発展に寄与してまいります。

地方経済天気図（平成25年2月）

～景気は、一部の減産緩和もあって足踏み感が一服～



全国漁業協同
組合連合会

JF JF全漁連

漁業とともに、社会とともに、 JFは水産物の安定供給を使命とし、 漁業者と漁村地域の発展に取り組んでいます。

全国漁業協同組合連合会（JF全漁連）

は、各都道府県にある漁業協同組合連合会や全国約1000弱の漁業協同組合（JF）を中心に組織する、JFグループの全国機関です。全国のJFや連合会とともに、協同して組合員の漁業経営と生活を守り、青く美しい海と豊かな海の幸を次の世代まで受け継ぐため、様々な活動を展開しています。よりよい地域社会を築くこと、そして組合員の経済的、社会的地位を高めることを事業目的として、燃料・資材の供給（購買事業）や、漁獲物の販売（販売事業）などとともに、会員である全国の連合会（JF漁連・JF信漁連）等に対する指導事業を実施しています。

全国にはおよそ34万人の漁業者（組合員）が、相互扶助、助け合いの精神のもと水産資源を守り育てながら、漁業生産活動を行っています。こうした漁業者が集まり、JFをつくっています。

JFとは、Japan Fisheries Cooperatives

（日本の漁業協同組合）の略で、漁業協同組合の愛称です。JFはそれぞれの浜で、組合員が漁獲した水産物の販売のための産地市場を運営したり、組合員の操業に必要な燃料・資材を供給する経済事業、共同漁業権の管理をはじめとする漁場の維持管理や営漁指導などを行う指導事業のほか、万一の場合に備える共済事業、そして貯金の受入れや資金の融資を行う信用事業を実施しています。JFは「二人は万人のために、万人は一人のために」を合言葉に、協同組織金融機関として設立以来つねに貯金の重要性を訴え、貯蓄を呼びかけてきたほか、相談窓口の設置やパンフレットなどの配布資料・揭示物等により組合員をはじめとする地域の利用者の皆様に向けて金融情報の提供を行っています。

多くの尊い人命を奪うとともに漁業・漁村に壊滅的な被害を与えた東日本大震災に際しても、JFグループは協同の力を結集し、被災地復興のために「がんばれ漁業募

金」運動や支援物資の発送をはじめとする様々な支援を行っています。

これからも私たちJFグループは、安全で安心できる水産物の安定供給を使命として、漁業者の生活向上と漁村地域の発展に向けて、事業活動に取り組んでまいります。



震災直後、JFグループは被災地に緊急支援物資を発送しました。

いつも口に使っている素朴で何気ないあの郷土料理は、どの地方で生まれた料理法かご存知ですか？
全国各地それぞれの土地によって別の顔を見せる料理の数々を紹介するのが「たべもの百面相」です。

お菓子

【其の八】おかし

昔、甘いものが貴重だったころ、お菓子は特別な食べ物でした。現在では誰もがいつでも気軽に食べることができるようになりました。種類も和菓子はもちろん、チョコレートやスナック菓子などそれこそ無数のの中から選べ、そのおいしさを楽しむことができます。今回はそんな多種多様なお菓子の中でも、それぞれの地域を中心に生み出されたり、広まっていたりした名物のお菓子をいくつかご紹介します。

バター飴

北海道の道南に位置する八雲町、この町がバター飴発祥の地とされています。八雲町は昔、尾張徳川家臣の集団移住により開拓が進められ、特に酪農と馬鈴薯栽培が奨励されました。これをきっかけにでんぷん飴が作られ、その後でんぷん飴の中にビート糖やバターなどを配合したバター飴が作られたといわれています。一部のバター飴は100%手作業による少量生産が続けられています。

北海道

北の大地の
豊かな味が
なごむ

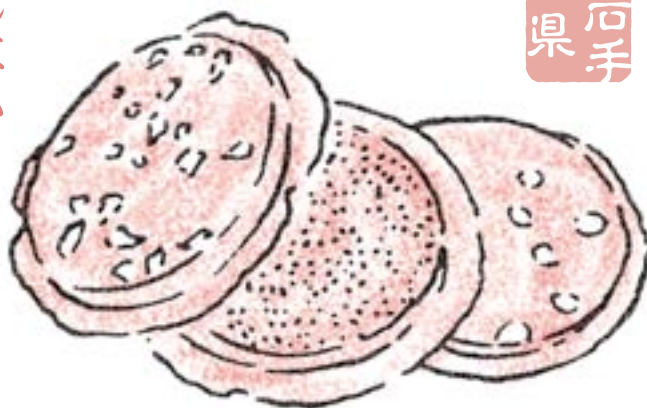


青森県
岩手県

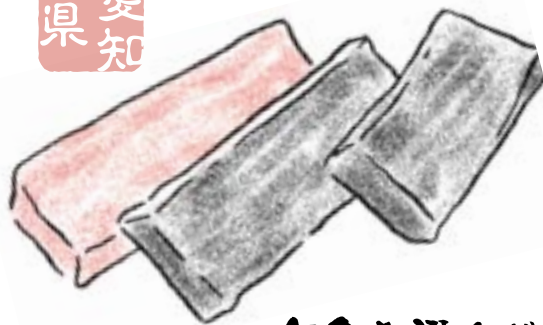
カリカリの
“みみ”も
人気の秘密

南部せんべい

南部せんべいは、南部地方（岩手県中部から青森県東部、秋田県の一部にまたがる旧南部藩）で600年以上前から伝わる伝統的なせんべい菓子です。寒冷地でも育つそば・小麦の産地だったことと、型を作る南部鉄の産地だったことが、このせんべいが生まれた土台となっているようです。焼くときに、型からはみ出した「みみ」がカリカリとしてとても香ばしく、この「みみ」のファンもいるようです。



愛知県



何色を選んだ
らいいのかな

いろいろう

いろいろは「外郎」や「外良」とも表記されます。米粉や小麦粉、ワラビ粉などに砂糖を加えて蒸したお菓子で、栗、小豆、梅、桜、抹茶、白黒、こし餡といろいろな風味が楽しめます。真空パックにしたものは日持ちもするため土産としても重宝します。名古屋のものが特に有名ですが、発祥の地といわれる小田原や京都、徳島、山口、宮崎などにもあり、それぞれ特徴のある名物となっています。

東京都

いろんな形、
いろんな中身

人形焼



東京みやげの定番の一つ、人形焼。紅葉、狸、五重塔、七福神などさまざまな形をした人形焼は、たまごの風味を効かせたカステラ生地を型に流し込んで焼いた懐かしいお菓子です。中身は何もなしかあんこが代表的ですが、現在ではチーズやカスタード、チョコレートなどお店によってバラエティに富んでいます。型は時代の流れに沿い、少しずつその形も変化しています。

八つ橋

ニッキ（肉桂）の香りがさわやかな京都の銘菓。その昔、京で箏曲の道場を開いていた八橋検校（けんぎょう）が米を研ぐときに流れる米をザルに受けて集め、堅焼き煎餅をつくって客人をもてなしたという言い伝えから琴の形をモチーフにしたという説や、伊勢物語に出てくる三河の国の八橋にちなんでいるという説があります。短冊形に焼いた煎餅のほか、正方形の生地を半分にして中に餡を挟んだ生八つ橋がありますが、最近では生地や餡にもさまざまな種類があります。

ニッキの風味が
独特のやさしさ

京都府



ゴツゴツの
ドーナツ素

沖縄県



さあたたあんだぎい

沖縄のげんこつのような形をしたドーナツで、「さあたたあ」が砂糖、「あんだ」+「あざい」が「油」+「揚げる」で揚げ物という意味です。今では抹茶や紅芋などを使った個性的なものも作られ、ちんすこうとともに沖縄を代表するお土産の定番商品です。

スーパーや百貨店などに行けばたくさん種類のお菓子が並んでいます。また専門店に行けば職人さんが腕をふるった、独自のお菓子を見つけたことができるでしょう。お土産や贈り物としていただくのも嬉しいものです。子どもはもちろん、大人たちにも夢とひとときの安らぎを与えてくれるお菓子を楽しみましょう。

「愛される風味と食感」が人気のヒミツ

- ミルクの風味とほのかな油（バター餡）
- ゴマやクルミ、落花生入りも人気（南部せんべい）
- 芳ばしい香りとカステラ風味（人形焼）
- 独特の弾力と目が喜ぶ淡い色（いろいろ）
- ニッキの香りと二つの食感（八つ橋）
- お店以外にお宅それぞれの味も（さあたたあんだぎい）

ライフ&マナープラン

「介護にかかる費用」

このコーナーでは、人生のさまざまな転機で役に立つ、生活設計におけるマナープランをご紹介します。仕事や家事で忙しい毎日を過ごされている皆さんも、時間をみつめて、将来を見据えたマナープランを検討してみてください。今回は、突然当事者になる可能性のある介護について、どのような準備をしておけばいいのか、また介護に必要な知識や費用の目安について紹介します。

要介護・要支援認定者は540万人強

「介護」と聞いてまだびんと来ない人も多いかもしれません。しかし、少子高齢社会に本格的に突入したわが国では、兄弟姉妹の数が減っており、働き盛りのときに親の介護の問題に直面するケースが増加しています。一方、定年間近の方であれば、親だけでなく、配偶者や自分自身の介護についても、次第に身近に感じられるようになっていくでしょう。

厚生労働省の平成24年10月の「介護保険事業状況報告」によると、介護保険制度で要介護（寝たきり・認知症などにより介護が必要な状態）・要支援（日常生活に支援が必要と認められる状態）の認定者数は、548.6万人

となっており、65歳以上の被保険者の18%を占めています。また、施設、居室、地域密着、介護予防の各サービスの受給者合計は450万人を超えています。

そして「介護保険事業状況報告（年報）」によると、保険給付費の総額は、介護保険制度がスタートした平成12年度の累計3兆2291億円に対し、平成22年度の累計6兆8396億円へと大幅に増加しています。

親や配偶者、そして自分自身も含め、介護の問題はいつ直面することになるかわかりません。どのように準備すればよいのでしょうか。

公的介護保険のあらまし

40歳以上の国民全員が加入者（被保険者）

要介護状態区分

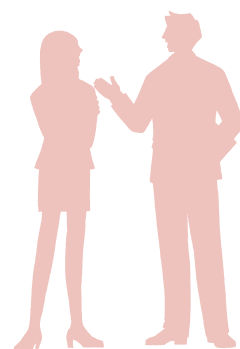
要介護度	心体の状態	支給限度額
要介護	要介護1 排泄・入浴・着替えなど身の回りの世話に部分的な介助が必要な人	165,800円
	要介護2 排泄・入浴・着替えなど身の回りの世話に軽度の介助が必要な人	194,800円
	要介護3 排泄・入浴・着替えなど身の回りの世話に中程度の介助が必要な人	267,500円
	要介護4 排泄・入浴・着替えなど身の回りの世話に全介助が必要な人	306,000円
	要介護5 生活の全般にわたり全面的な介助が必要な人	358,500円
要支援	要支援1 基本的な日常生活はほぼ自分でできるが、支援が必要な人	49,700円
	要支援2 要支援1よりわずかに日常生活を行う能力が低下し、何らかの支援が必要な人	104,000円
非該当（自立）	介護が必要と認められない人	—

※支給限度額は、自治体により若干の違いがある場合があります。

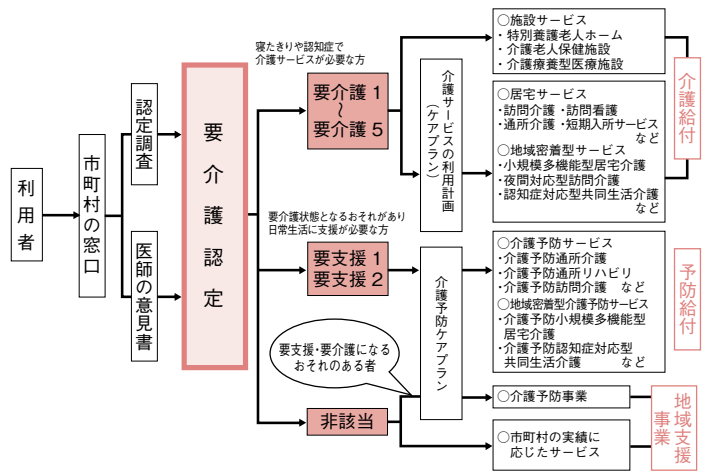
となり、高齢者介護を社会全体で支え合うための仕組みとしてスタートしたのが国の介護保険制度です。被保険者は年齢により次の2つに分けられます。

・65歳以上Ⅱ第1号被保険者

病気やケガなどの原因に関係なく、要支援あるいは要介護状態と認められた場合に介護サービスを受けられます。保険料は市区町村ごとに決められた基準額をもとに、本人の所



要介護認定の流れとサービス利用の手続き



い、要介護認定を受ける必要があります。

要介護または要支援と認定された場合、ケアマネジャーなどと相談してケアプランを作成し、そのプランをもとに在宅や各施設で各種サービスを利用することになります。

認定された状態などによって介護保険の支給限度額が決まっており、自己負担額は1割となっています。

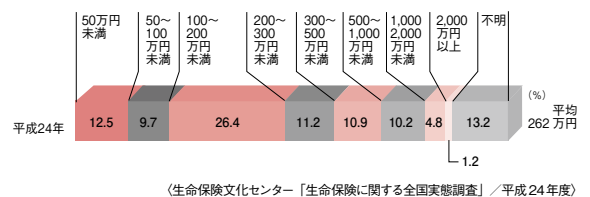
民間介護保険も検討したい

介護が必要となる状況によっては、自宅の改修費用や、介護保険の適用範囲外のオムツ代や介護タクシー代など、公的介護保険だけでは十分でないこともあります。

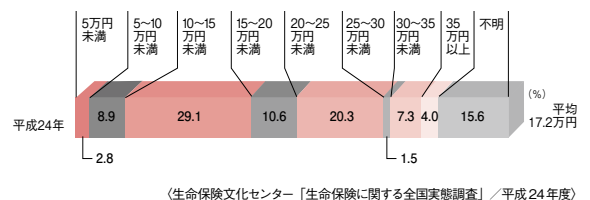
生命保険文化センターの平成24年度の調査によると、世帯主または配偶者が要介護状態となった場合に必要と考える初期費用の平均は262万円、月々の費用の平均は17・2万円となっています。

こうした介護関連費用をまかなうために、自助努力として民間の保険会社などが用意する介護保険に加入しておくことも有効でしょう。保険会社によっても内容が異なりますが、保険契約に定める所定の要介護状態になった場合、一時金や年金が受け取れるものが一般的です。加入にあたっては、自分や家族の現状と保険会社が用意しているプランを十分に検討しましょう。

要介護状態になったときに必要と考える初期費用



要介護状態になった場合の月々の必要資金



将来に備えつつ、健康に留意し、地域との絆も深めよう

将来の介護について考えると、不安ばかりが募りがちです。でも必要な費用を見通し、利用できる制度を理解した上で、自分でも計画的に備えていけば、いたずらに心配することはありません。

そうした準備をする一方で、まずは健康を心がけ生活習慣病などのリスクを減らしましょう。そして市区町村やNPOなどの主催する数々のイベントやボランティア活動、地域のサークルなどに積極的に参加し、近所も含めて地域の人たちとのつながりを深め、助け合いの基盤を作っておくことが大切です。

金融教育の現場レポート

「金融教育」は、社会の中で生きる力を育むことを目的として行われる教育です。

このコーナーでは、金融教育の授業がどのように進められているか、教育現場に立つ先生や、授業を受ける生徒の姿をレポートします。

今回は、静岡県焼津市立大井川西小学校教諭・殿岡正英先生が、6年生の総合的な学習の時間に新たな単元開発として取り組んだ金融教育についてご紹介します。

※殿岡先生はこの実践をまとめた小論文で、金融広報中央委員会主催『金融教育を考える』第8回小論文コンクール（2011年度）特賞を受賞されました。

スーパーの棚から物がなくなつた体験が授業のきっかけに

殿岡先生の勤務する焼津市立大井川西小学校の校区は、江戸時代中期の城主・田沼意次ゆかりの田沼街道沿いに位置しています。2000年に行われた「東海道400年祭」を機に、10年以上にわたって地域と学校が一体となった「街道カーニバル・こども門前市」に取り組んできました。この伝統行事では、毎年6年生が地元商工会の人たちと門前市を開きます。1～5年生の間は買い物客として参加する子どもたちにとって、6年生になって売り手を体験することは憧れでもあり、6年生には修学旅行と並ぶ人気行事となっています。

例年、同校ではこの行事に合わせて、



田沼街道の歴史を調べる学習などが行われてきました。しかし、11年度に6年生を担当することになった殿岡先生は、「総合的な学習の時間」を利用して、「こども門前市」を活用した金融

教育『西小プロジェクト2011 私たちの暮らしと経済』を行うことを決定しました。それは、同年3月11日に発生した東日本大震災によって、焼津市内でも一時的な「買いだめ」に

静岡県
静岡県焼津市立大井川西小学校
殿岡正英教諭

■6年生 総合的な学習の時間の計画『西小プロジェクト2011 私たちの暮らしと経済』

題材名		西小プロジェクト2011 私たちの暮らしと経済
ねらい		<ul style="list-style-type: none"> ・地域商店での聞き取り調査や個人テーマにおける調査活動を通して、問題解決に必要な情報を集めることができる。 ・焼津信用金庫による金融教室や静岡財務局による経済教室で需要と供給の関係を学び、経済の仕組みとはたらきについて考えることができる。 ・日本銀行の見学や街道カーニバルでの販売などの体験的な活動を通して、経済についての興味・関心を高めることができる。 ・個人テーマで調べたことや体験的な活動をまとめ、発表することができる。
		<p style="text-align: center;">経済の仕組みを調べよう！</p> <div> <p>5月 スーパーから消えたものは (商店での聞き取り調査)</p> <p>調査1「東日本大震災後にスーパーから消えたものはなんだろう」 東日本大震災後にスーパーやコンビニから消えたものを商店で聞き取り調査をする。</p> <p>6月 金融教室で学ぼう (焼津信用金庫による金融教室)</p> <p>調査2「ものの値段は、どのようにして決められるのだろう」 ものの値段は、材料費・人件費・輸送費など様々な要素で決定されることを理解する。</p> <p>7月 経済教室で学ぼう (静岡財務事務所による経済教室)</p> <p>調査3「需要と供給のバランスが崩れるとどうなるのだろう」 インフレやデフレにより物価(ものの値段)がどのように変化するか調べる。</p> </div> <p style="text-align: center;">日本銀行について調べよう！</p> <div> <p>8月 日本銀行の役割を調べよう (夏休みの課題・個人テーマ)</p> <p>調査4「インフレやデフレの物価安定における日本銀行の役割を調べよう」 個人テーマを設定し、インターネット検索や書籍による調査活動に取り組む。</p> <p>9月 日本銀行を見学しよう (修学旅行時の見学)</p> <p>調査5「日本銀行にはどのような施設・設備があるのだろう」 日本銀行を見学し、その役割から施設や設備についての理解を深める。</p> </div> <p style="text-align: center;">街道カーニバルを成功させよう！</p> <div> <p>10月 街道カーニバルの準備をしよう (大井川商工会による商業教室)</p> <p>調査6「仕入れ・販売・サービスについて調べよう」 商品の仕入れ・販売方法・サービスなどから、値段の決め方を考える。</p> <p>11月 街道カーニバルを成功させよう (街道カーニバル販売体験)</p> <p>調査7「どのようにして商品の値段を決めればいいのか」 需要と供給のバランスから適正な市場価格を考え、商品販売の体験をする。</p> <p>12月 調べたことを発表しよう (参観会でのコーナー発表)</p> <p>「個人テーマ」「日本銀行について調べたこと」「街道カーニバル販売体験で学んだこと」などを、各コーナーごとに発表する。</p> </div>

【外部機関】

6月 (金融教室外部講師)	焼津信用金庫
7月 (経済教室外部講師)	静岡財務事務所
9月 (修学旅行時の見学)	日本銀行 ※見学中止
10月 (商業教室外部講師)	大井川商工会
11月 (販売体験外部講師)	大井川商工会

※日本銀行は、東日本大震災による電力不足の節電対策のため、7月から9月までの3ヶ月間すべての見学受け入れを中止した。このため、9月の修学旅行時における日本銀行の見学は実施できず、かわりに、日本銀行より「知るほど なるほど! 日本銀行」のビデオを借り学習を進めた。また、日本銀行のホームページより「バーチャル見学ツアー」も活用した。

よる物不足が起こったことがきっかけでした。
カリキュラムはまず、震災後の地元スーパーで、棚から商品がなくなっ

しまった写真と、「商品の供給が間に合わない」という店内の掲示を見せ、「なぜこういふことが起こったか?」「需要と供給とは何か?」について調べ

ることからスタートしました。
子どもたちは、「スーパーから消えたものは?」をテーマにスーパーやコンビニでインタビューを行い、「震災後は、

焼津でも水、パン、乾電池、カップラーメンなどの物不足が起こったこと」「商品は店頭だけでなく問屋や工場にもなかったこと」など地元の声を集め、意見交換を行いました。

「小学生の場合、自分で調べたり、自分で見聞きたりした学習の成果は非常に大きいものです。子どもたちはお店の人から直に話を聞き、物不足の大変さを切実に感じたのだと思います」と殿岡先生は振り返ります。

『需要と供給』『インフレ・デフレ』にも深まる理解

導入段階の授業の最後に、殿岡先生は、消費者側からだけでなく、売り手の視点でも「需要と供給」を考えさせようと、子どもたちにヒントを出します。

「さみたちも今度、売る側の人間になるよね?」と。ここで子どもたちは、この学習が秋の「子ども門前市」につながっていくことに気づき、がぜん学習意欲が高まり、真剣さを増したといえます。

6月には、地元の焼津信用金庫の職員が「ものの値段は、どのようにして決められるのだろうか」をテーマに金融教室を開催。7月には静岡財務事務所による「需要と供給のバランスが

崩れるとどうなるのだろうか」をテーマに経済教室を開きました。

子どもたちは、商品の価格は、人件費・材料費・輸送費など、さまざまな要素を含めて決められていることを知り、次に「商品は安ければ安いほどいいのか?」と考えを展開。さらに、インフレやデフレにより物価がどう変化するか、学びを深めていきました。

「正直なところ、小学生には難しい題材だと思っていました。ところが、物価の変動によって、働く従業員の給料にも影響することや、物価は高くても安くてもよくないのだと、小学生なりに正しい理解が深まっていました」と殿岡先生は期待以上の効果を実感したといいます。

「子ども門前市」では学びの成果と本領を発揮

後期は、いよいよ11月の本番に向けた準備が始まりました。まずは地元商工会の協力により、「仕入・販売・サービス」について調べよう」をテーマに、商業教室が行われました。

子どもたちは、前期で学んだ経済の仕組みを踏まえ、「仕入と販売価格」をおさらい。さらに、お店の「サービス」が販売費（もうけ）につながることを学び、門前市でのよりよいサービ



学習計画12月の「調べたことを発表しよう」保護者会での個人テーマの発表用資料 子どもたち一人一人が、自分のテーマについて調べ発表の根拠となる資料を模造し1枚にまとめた

ス方法についてアイデアを出し合いました。結果、POPや看板に工夫を凝らしたり、ゲームやおまけを取り入れたりなど、集客のアイデアも集まりました。

本番は、2クラス68人が11班に分かれ、菓子、乾物、しょうゆ、お茶、文房具、肉屋、魚屋（金魚すくい）など、さまざまな担当ブースでの販売体験です。呼び込みで店のPRに声を張り上げ、出張販売に出歩くなど、子どもた

ちは大活躍。地域をあげての人気イベントだけに来場者も多く、大盛況に終わりました。

その様子を殿岡先生は、「終盤には



売れ残り商品の割引をしていたのですが、子どもたちはきちんと原価を意識した販売を行っていましたね。物の値段の勉強をした自負からか、自信を持って堂々と行動していたのが印象的でした。商工会の方々からも、『例年の子どもたちとは違うね』という評価もいただきました。

12月には保護者の参観会で、子どもたちは個人テーマを設定しそのテーマについて調べ、学習の成果を模造紙1枚にまとめて発表、学習をしめくりました。

その際も、「小学生でここまで理解ができるのか」という驚きの声もあり、殿岡先生は、「総合的な学習のねらいである、『自分で課題を見つけて』『調べて』『まとめる』というサイクルを達成するには十分な題材でした」と話します。

子どもをやる気にさせた 金融教育の総括

例年は6年生の楽しい販売体験というイベントだけで終わっていた「こども門前市」が、年間カリキュラムの金融教育として成功した背景には、震災

後の「物不足」という思いがけない出来事が、恒例行事の「こども門前市」への大きな動機付けとなったということが挙げられます。

また今回、焼津信用金庫や静岡財務事務所、地元商工会では、殿岡先生の依頼を快諾し、ゲストティーチャーとして「学習のねらい」と「小学6年生の発達段階」に合った授業内容を工夫してくれるなど、大きな協力もありました。

「外部講師を迎えた授業は、いつもの授業以上にインパクトがあり、いつも興味関心が高まったと思います」。

先生同士の間でも、「身近な題材が経済学習につながる興味深い事例」として、この単元開発は高い評価を得ました。

殿岡先生は、「子どもたち全員が関心を持って学べる学習は多くありません。今回は『子ども門前市』というイベントを成功させようという統一した目標があったことが、学習へのモチベーションを高めるきっかけとなりました。金融教育におけるひとつの単元例として参考になれば嬉しいですね」と話しています。

「需要と供給って何?」

～子どものやる気を喚起する金融教育の単元開発～

静岡県

静岡県焼津市立大井川西小学校 殿岡正英教諭

衣・食・住・遊 あの時代この時代

第4回

遊

さまざまなものが時代とともに移り変わる世の中で、
私たちの生活に必要な衣・食・住も
そのカタチを少しずつ変化させています。
その衣・食・住に遊を加え、
さまざまなモノの移り変わりを追いながら、
私たちのいまの生活様式を見つめ直してみませんか。

移り変わる 子どもの遊びと場

自然にふれあう空間や
原っぱから室内へ

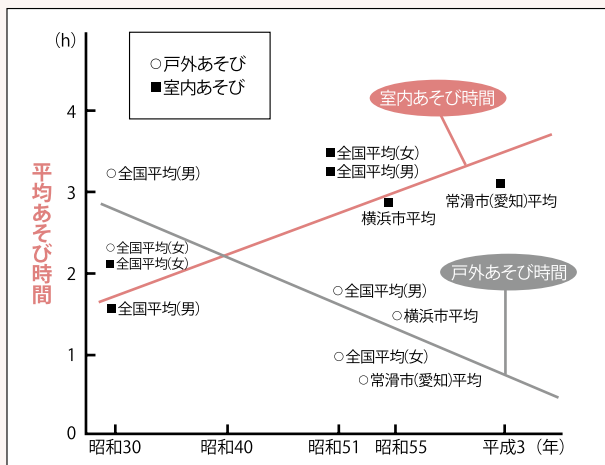
子どものころ皆さんはどんな遊びをしていましたか？かくれんぼ、鬼ごっこ、缶蹴り、ままごと、サッカーや野球、メンコやベーゴマ、木登り、魚釣りなど、それぞれの暮らした地域や世代によっても違いがありそうですが、いま60代以上の方であれば、都市部であれ郊外であれ、自然と接して遊んでいた方が多いのではないのでしょうか。

平成8年（1996年）「環境白書」によると、調査当時40代から60代の男性は、鬼ごっこや缶蹴り、球技のほか、木の枝で刀やゴムパチンコなどを作ること、水辺で砂遊びや石積みや石投げをすることなどが遊びの中心でした。また、女性でもツクシを摘むなどの回答が多く、自然と親しむような遊びが多かったことが分かります。

遊び場としては「森や林」、「草むら・原っぱ」などの回答が多く見られました。

こうした遊びの場に少しずつ変化が出てくるのが、高度成長期です。モータリゼーションの進展とともに、道路の整備が進み、住宅街の道路も自動車が行き通るようになり、路地

■図 あそび時間の変化



出典：仙田満「子どもとあそび」

での遊びが危険になっていきます。また、空き地にビルや住宅が建ち、原っぱが次第に減少していくのもこのころからです。建築家の仙田満氏の調査によると、1955年ごろから1975年ごろまでの20年間で、子どもの遊び空間は大都市では20分の1、地方都市でも10分の1に、自然空間にいたっては全国では約29分の1までに激減したといえます。

一方、テレビの普及とあいまってテレビの視聴時間が増えていったこと、大量生産・大量消費時代に入り、さまざまなおもちゃが発売されたことなども戸外の遊びの減少につながっていると考えられます。仙田満氏は、昭和40年を境に、戸外での遊びと、室内での遊びの時間が逆転したと指摘しています。

ゲーム機の登場で変わる遊び

昭和58年に家庭用テレビゲーム機が発売され、平成に入って携帯型ゲーム機が普及するようになると、遊び方はさらに変化します。

学校や近隣でスポーツをしたり活発に過ごす子どもたちと、屋内での少人数の遊びが中心となる子どもたちに、二極化する傾向が生まれています。

さわやか福祉財団が2010年に行った「放課後の遊びについてのアンケート調査」によると、よくする遊びの第一位が「携帯型ゲーム」で41・0%、「テレビゲーム」は17・7%という結果でした。「鬼ごっこ」や「サッカー」などの集団での遊びがそれに続きますが、「読書・漫画」の比率も高くなっています。遊び場所としては、「家の近くの公園」、「自分の家」、「友達の家」が上位で、そのほかは「放課後子ども教室」、「学童保育」、「児童館」、「学校」など、社会的に整備された子どもたちの施設がほとんどです。また遊ぶのは「同じ学年の友だち」が80・1%で学校内の違う学年の人は20%に達しません。遊ぶ人数も3〜5人が一番多く、「1人」、「2人」という回答もあわせて30%近くあり、大人数で遊ぶというよりは、気の合う仲間と過ごす子どもが多いようです。集団遊びを通して異なる年齢の子どもたちの中で人間関係を培う力が少しずつ弱まっているといえそうです。

遊びを通じて、子どもたちは成長します。

国立青少年教育振興機構の調査（平成22年度青少年の体験活動等と自立に関する実態調査）でも、子どもたちのこの頃の体験が豊富な大人ほど積極性や自立性が高い傾向があるとされています。

そうしたなか、自分たちの創意工夫で五感を使って自由に遊びを創造するための「冒険遊び場」づくりをはじめ、児童館や公民館などで、メンコやベーゴマ、けん玉など、昭和の遊びを子どもたちに伝えようとする取り組みが全国各地で広がっています。

いきいきした遊び体験を子どもたちに広げていきたいですね。

主な遊びの変遷

明治30年代	紙めんこが考案される
明治末	ゼンマイで動く金属玩具づくりが盛んに ブリキ笛流行 このころからけん玉遊びが行われる
大正中ごろ	忍術ごっこ遊び流行 ゴム製の野球ボール発売、野球が広がり始める
大正末	めんこ、ベーゴマ、ビー玉遊び大流行
昭和元年	セルロイド玩具生産世界一
昭和5年～戦前	紙芝居ブーム
昭和8年	ゴム縄とび盛んにおこなわれる
昭和22年～30年	ブリキ、セルロイド、ゼンマイ玩具など再び人気 紙芝居が再び脚光
昭和30年	「きいちのぬり絵」ベストセラー
昭和20年代～30年代後半	ベーゴマ人気
昭和33年	フラフープ大流行 国産プラモデル玩具登場
昭和34年	皇太子殿下ご成婚 テレビの普及に拍車 少年向け漫画週刊誌創刊
昭和38年	少女雑誌の週刊誌化
昭和39年	アメリカ発の着せ替人形発売 東京オリンピック
昭和41年	怪獣が登場するテレビ番組により第一次怪獣ブーム
昭和42年	日本版の着せ替人形発売
昭和46年	変身ごっこ
昭和50年	テレビゲーム出現
昭和52年	自動販売機によるカプセル玩具の販売開始
昭和53年	インバーダーゲーム機が喫茶店に普及
昭和56年	テレビとタイアップしたキャラクター玩具の成長
昭和58年	家庭用テレビゲーム機発売
昭和63年	アイドルグループの影響でローラースケートブーム
平成元年	携帯型ゲーム機の本格普及
平成9年	携帯型育成ゲーム人気

財団法人日本玩具文化財団「おもちゃの歴史」などをもとに作成



参考資料：環境省「環境白書」、財団法人日本玩具文化財団「おもちゃの歴史」、仙田満「こどものあそび環境」鹿島出版会 2009 ほか

都道府県金融広報委員会 事務局員の活動紹介

北海道に広がれ 金融広報の輪！

北海道金融広報委員会

鈴木 由香

北海道金融広報委員会の最大の特徴は、担当エリアが日本一広い（面積は国土の約2割強を占め、東京都の約40倍に当たります）ということです。道産子の私でも日々の活動を通じ、あらためて北海道の広大さを実感することが少なくあ

りません。例えば、講演先に一番近い講師にお願いしても行程が2泊3日になってしまったり、初めて耳にする地名での講演依頼を受けることがよくあります。

この広い北海道であまねく金融広報委員会の活動を行うためには、道内各地区の金融広報アドバイザーの皆さんや、北海道庁（本庁のほか14の振興局により所管地域が分割されています）、北海道財務局、道内にある日銀支店・事務所をはじめとする関係団体との連携

強化が重要です。

市民向け講座「知るぽると塾」は、以前は札幌でしか開催していませんでしたが、道内の関係団体と連携して、23年度は札幌、釧路、函館の3都市で、24年度はさらに帯広、旭川を加えた5都市で開催することができました。各都市での「知るぽると塾」の開催は、一般市民の方々への金融知識の普及だけではなく、各地区のアドバイザーと関係団体との連携強化にも繋がりました。

4月からは新たに11名にアドバイザーを委嘱し、25名体制（これもダントツ日本一です）で新年度をスタートします。これからも北海道全地区へ金融広報の輪を広めていくことができれば、関係者一丸となって取り組んでいきたいと思っています！



「アドバイザー等研修会」に出席のアドバイザーの皆さんと（後列左が鈴木さん）

目指せ、

知るぽるとレディ!?

山口県金融広報委員会

財津 香織

山口県金融広報委員会の事務局員として、今年で6年目になります。

さて、当委員会では、近年新たな企画に力を入れています。23年度からは金融機関との連携イベントとして「子どもたちのためのおかね教室」を、24年度からは「公民館等との

共催講座」を始めました。

この中の「公民館等との共催講座」では、金融広報アドバイザーを講師として地域の方々に金融・経済、生活設計などに関する情報を提供しています。山口県は山陽と山陰など地域ごとに特性がありま

すので、「地域によってニーズもまったく違うはず！」と考え、より地域に近い「公民館との連携」を目指して、23年度に県内の全公民館に対してアンケート調査を行うことから始めました。

このイベントの企画を通じて、や

はり「顔」を合わせて説明する『営業』は重要だと痛感しました。今後、待つだけでなく、『知るぽるとレディ』と胸を張れるくらい、活発な『営業』も行い、さらに「知るぽると」を県内に広めていきたいと思っています。



金融広報アドバイザーとは、金融広報委員会からの委嘱を受け、各地において暮らしに身近な金融経済等に関する勉強会の講師を務めたり、生活設計の指導や金融・金銭教育などを行う金融広報活動の第一線指導者です。

金融広報 アドバイザーの 紹介

母親に「おこづかい」を通して しつけの自信と勇気を持たせたい

杉本卓也さんは、「自立をめざしたおこづかいの使い方、与え方」をテーマに、講義活動に取り組んでいます。子どものお自立の話を通して、母親自身の自立をも促す杉本さんの講義は口コミで評判を呼び、依頼が絶えません。

* * *

杉本さんの活動は、小1の子どもを持つ母親を対象とした「家庭教育学級」と「放課後児童クラブ」での「おこづかいの話」が中心です。

杉本さんは、金融広報アドバイザーになった平成12年ごろに比べ、最近では、「子どものおこづかいについて話を聞きたい」との要望が年々増えていっていると感じています。

母親たちの関心は、「子どもに『いつごろから』『いくら?』『おこづかいを渡すことが適切か?』ということ。杉本さんは講座でまず、「私には答えがありません」と切り出します。



静岡県藤枝市にて長く学校教育に携り、平成9年に定年退職後はスクールカウンセラーを8年、平成12年より貯蓄生活設計推進員（現在の金融広報アドバイザー）を7年務め、23年度より再委嘱を受け、現在に至る。約10年前からは地域の住民主導のボランティアとして、地域の子どもたちが遊びのなかでコミュニケーション力や社会性を育む活動「ふれあいサタデーパーク」を主宰し、高齢者と子どもとのふれあい交流を推進中。

持ちをほぐして話を進めていくことが私のやり方です」。

その結果、みんなが「自分の家庭」の話をし、「うちと一緒だわ」「そういう方法もあるのね」という家庭の実情の共有が図れます。その後、杉本さんが統計的なデータや具体的な事例を挙げて、より理解を深めていくのです。

結論は、「答えは自分で出すもの、見つけるもの」。

スクールカウンセラーやボランティアで地域の子どもたちと触れ合っている経験から、杉本さんは家庭ごとにさまざまな「生きた事例」があり、おこづかいを与えることや、その与え方は、子どもの将来的な「精神的」

「社会的」「経済的」な自立を促すことにつながることを説いていきます。

「私の目的は、お金の使い方や与え方を理解してもらうことだけではなく、未来を生きる子どもたちを育てるお母さんたちの支援をすることです。しつけや指導は、自信と勇気がなければできません。ハウツーですぐに答えを知りたい人が多いなか、いろいろな情報や知識を持って、自分の答えを持つことの大切さを伝えたい」と杉本さんは話します。

講義のあと、参加者からは、「子どもと親のかかわり方を教えてもらった」「共通する答えはないことが分かった」「他の家庭を参考に、自分の家庭のおこづかいを考えた」など多くの感想が寄せられています。

子どもの自立の話を通して、母親自身の自立をも促していく。そこに杉本さんの本来の目的があるのです。

静岡県金融広報委員会
金融広報アドバイザー

杉本卓也

第4回 試してみる、参加してみる

このコーナーでは、知るぽるとホームページの幅広い内容から、テーマごとにおすすめのページをピックアップしてご紹介します。今回のテーマは「試してみる、参加してみる」。ホームページの“暮らしのお役立ちツール”と“お知らせ・イベント”にあるページを中心に紹介していきます。

The diagram illustrates the navigation path on the 'Shiruporuto' homepage. It starts with a screenshot of the 'トップページ' (Main Page) on the left. Two red callout boxes with arrows point to specific buttons: 'ピンク色のボタンをクリック！' (Click the pink button!) pointing to a button in the top navigation bar, and '紫色のボタンをクリック！' (Click the purple button!) pointing to a button in the main content area. Arrows then lead from these buttons to two smaller screenshots on the right: '暮らしのお役立ちツール' (Life Support Tools) and 'お知らせ・イベント' (News & Events). A cartoon character is shown at a computer on the far right.

ピンク色のボタンをクリック！

暮らしのお役立ちツール

紫色のボタンをクリック！

お知らせ・イベント

【トップページ】

【お知らせ・イベント】

生活設計診断

暮らしの中で、思い描いている夢や目標を実現するために生活設計を立てるのは、意外に難しいこと。生活設計診断では、現在の家計収支や貯蓄、借入などをもとに、将来の暮らし向きを簡単に診断できます。

資金プランシミュレーション

住宅ローンの返済計画や預貯金の積立予測など11種類のシミュレーションです。簡単なデータ入力で手軽に試せる「らくらく」コースと、少し詳しいデータ入力で具体的な計算ができる「しっかり」コースをご用意しています。

あなたのお金の付き合い方チェック

あなたのお金の付き合い方について、Yes、Noで質問に答えるだけで、「ガッチリ型」、「コツコツ型」、「ドンブリ型」、「イケイケ型」の4タイプに、ズバリ判定します。

注目のイベント・講座

お金について楽しく学べる体験型イベント「親子のためのおかね学習フェスタ」、金融に関する授業を全国の学校で公開する「金融教育公開授業」、中高生・教員を対象とした「作文・小論文コンクール」、都道府県金融広報委員会のイベント開催情報等をご紹介します。

■まだまだあります！

知るぽるとホームページにはほかにも、暮らしの中で直面するお金の問題が毎月出題される「今月のクイズ」、自分だけのこづかい帳が作れる「おこづかいきろく」キットなど、試して役立つ、参加して学べるさまざまなツールやイベント情報がいっぱいあります！

知るぽるとホームページは…

知るぽると

検索

<http://www.shiruporuto.jp/>



読者のみなさまの声を紹介します。
ありがとうございます。

●確定申告、疑問ベスト3は文章がとて
も読みやすく、「e-tax」について新し
く知ることができて良かったと思います。

(神奈川県・びよーんさん)

●「オイシイ話にご用心」この4月から
社会人になる息子によませます。今まで
お金についてきちんと教えていなかった
ように思い反省しています。

(和歌山県・子ばなれといけない母親さん)

●夫の退職が近くなり第2ステージをど
う過ごすのか案じていました。テーマに
目を奪われ、内容を熟読して学ぶことが
多くて助かります。

(新潟県・佐藤妙子さん)

●確定申告の事をよく知らず、難しそ
うなので今までしなかったが、記事を読
んで出来そうだと思ったので挑戦したい。

(愛媛県・みかんさん)

●今回初めて手に取りました。お金に関
することは知らなければ知らないで終
わってしまいましたが、いろんな切り口で
記事が書かれていてよかったです。

(新潟県・匿名希望さん)

●確定申告疑問ベスト3は大変わかりやす
かった。心理的ハードルが低くなった事がわ
かる。冊子がB5からA4サイズに変更さ
れてこれも又見易くなりました。

(福井県・3人のバアバさん)

●齋藤先生が提唱する『量』が『質』に
変わり、『技』が定着し、そしてそれが
『スタイル』になるという教育論に感銘
しました。ただ褒めるだけでなく、子ど
も自らが試練を乗り越えていけるよう導
くのが本当の教育だと納得しました。

(三重県・久保田泰敏さん)

知るぽるとクイズ

以下のヒントをもとに故事ことわざなどを考えてみてくだ
さい。一番最初の文字をつなげると、本誌に登場した印象
的な言葉が浮き上がってきますよ。さて何でしょうか？

ヒント

- A. 気の持ち方一つで重くなったり軽くなったり
- B. 十分に準備をし、機会を待つ
- C. 押しても手ごたえがありません
- D. せっかくの努力が無駄に・・・
- E. もう一杯いっぱいです

A.					キ	カ	ラ
B.				ジ	ス		
C.					ウ	デ	オシ
D.				フ	ル		
E.						ヨ	チナシ

※答えは次号掲載

●前号の答え

心の芯

声を出したり、身体を鍛えながら学ぶことでより自分の血肉となる学習が
できる、という齋藤先生の考えに共感される方も多かったと思います。一
度恥ずかしがらずに声を出して文章を読み上げてみてはいかがでしょうか。

おたより募集中

「くらし塾 きんゆう塾」では、皆さまからのおたよりを募集します。
クイズにお答えいただいた上で、下記宛先までお送りください。
平成25年5月31日までにご意見をくださった方の中から、抽選
で10名の方に、「日めくりカレンダー」をプレゼントいたします。
また、おたよりを本誌に掲載させていただいた方には、「知るぽ
ると特製ボールペン*＆メモ帳」をプレゼントいたします。

※使い終わった紙幣の裁断片が入っています。

●記入していただきたいこと

- ①本号で面白かった記事
- ②本号で「もう工夫ほしい」と思った記事
- ③今後、取り上げてほしいと思うテーマ
- ④一言ご感想
- ⑤この広報誌を知ったきっかけまたは場所
- ⑥知るぽるとクイズの答(左記参照)
- ⑦ご住所・お名前・電話番号
- ⑧「読者のおたよりコーナー」への掲載希望の有無/掲載するに当たり、本名ではなくペンネームをご希望の場合はペンネーム

※いただいた個人情報は、プレゼントの発送、誌面への掲載に関してのご連絡についてのみ、使用させていただきます。

●宛先

郵送 : 〒103-8660 東京都中央区日本橋本石町2-1-1
日本銀行情報サービス局内
金融広報中央委員会「くらし塾 きんゆう塾」担当宛
メール : info@saveinfo.or.jp
FAX : 03-3510-1373
金融広報中央委員会「くらし塾 きんゆう塾」担当宛

都道府県金融広報委員会一覧

委員会名	郵便番号	住所	電話番号
北海道金融広報委員会	〒060-0001	札幌市中央区北1条西6-1-1	011(241)5314
青森県金融広報委員会	〒030-8570	青森市長島1-1-1	017(734)9209
岩手県金融広報委員会	〒020-0021	盛岡市中央通1-2-3	019(624)3622
宮城県金融広報委員会	〒980-8570	仙台市青葉区本町3-8-1	022(211)2523
秋田県金融広報委員会	〒010-0921	秋田市大町2-3-35	018(824)7814
山形県金融広報委員会	〒990-8570	山形市松波2-8-1	023(630)3237
福島県金融広報委員会	〒960-8614	福島市本町6-24	024(521)6355
茨城県金融広報委員会	〒310-8639	水戸市南町2-5-5	029(224)2734
栃木県金融広報委員会	〒320-8501	宇都宮市塙田1-1-20	028(623)2151
群馬県金融広報委員会	〒371-8570	前橋市大手町1-1-1	027(226)2273
埼玉県金融広報委員会	〒333-0844	川口市上青木3-12-18 SKIPシティ A1 街区2F	048(261)0995
千葉県金融広報委員会	〒260-8667	千葉市中央区市場町1-1	043(225)7141
東京都金融広報委員会	〒103-8660	中央区日本橋本石町2-1-1	03(3277)3788
神奈川県金融広報委員会	〒221-0835	横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2	050(7506)1128
山梨県金融広報委員会	〒400-0032	甲府市中央1-11-31	055(227)2419
長野県金融広報委員会	〒380-0936	長野市岡田178-8	026(227)1296
新潟県金融広報委員会	〒951-8622	新潟市中央区寄居町344	025(223)8414
富山県金融広報委員会	〒930-0046	富山市堤町通り1-2-26	076(424)4471
石川県金融広報委員会	〒920-8678	金沢市香林坊2-3-28	076(223)9519
福井県金融広報委員会	〒910-8532	福井市順化1-1-1	0776(22)4495
岐阜県金融広報委員会	〒500-8384	岐阜市数田南5-14-53 ふれあい福寿会館1棟3階	058(213)9257
静岡県金融広報委員会	〒420-8720	静岡市葵区金座町26-1	054(273)4112
愛知県金融広報委員会	〒460-8501	名古屋市中区三の丸3-1-2	052(954)6166
三重県金融広報委員会	〒514-0004	津市栄町1-954 三重県栄町庁舎3階	059(246)9002
滋賀県金融広報委員会	〒520-8577	大津市京町4-1-1	077(528)3412
京都府金融広報委員会	〒604-0924	京都市中京区河原町通二条下ル 一之船入町535	075(212)5193
大阪府金融広報委員会	〒530-8660	大阪市北区中之島2-1-45	06(6206)7748
兵庫県金融広報委員会	〒650-0034	神戸市中央区京町81	078(334)1129
奈良県金融広報委員会	〒630-8213	奈良市登大路町10-1	0742(27)5454
和歌山県金融広報委員会	〒640-8319	和歌山市手平2-1-2 和歌山ビッグ愛8階	073(426)0298
鳥取県金融広報委員会	〒680-8570	鳥取市東町1-271	0857(26)7160
島根県金融広報委員会	〒690-8553	松江市母衣町55-3	0852(32)1509
岡山県金融広報委員会	〒700-8707	岡山市北区丸の内1-6-1	086(227)5128
広島県金融広報委員会	〒730-0011	広島市中区基町8-17	082(227)4268
山口県金融広報委員会	〒753-8501	山口市滝町1-1	083(933)2608
徳島県金融広報委員会	〒770-8570	徳島市万代町1-1	088(621)2258
香川県金融広報委員会	〒760-0023	高松市寿町2-1-6	087(825)1104
愛媛県金融広報委員会	〒790-0003	松山市三番町4-10-2	089(933)6308
高知県金融広報委員会	〒780-0870	高知市本町3-3-43	088(822)0114
福岡県金融広報委員会	〒810-0001	福岡市中央区天神4-2-1	092(725)5518
佐賀県金融広報委員会	〒840-0815	佐賀市天神三丁目2-11 アバンセ3階	0952(25)7059
長崎県金融広報委員会	〒850-8645	長崎市炉粕町32	095(820)6112
熊本県金融広報委員会	〒862-8570	熊本市中央区水前寺6-18-1	096(383)2323
大分県金融広報委員会	〒870-0023	大分市長浜町2-13-20	097(533)9116
宮崎県金融広報委員会	〒880-0805	宮崎市橘通東4-3-5	0985(23)6241
鹿児島県金融広報委員会	〒890-8577	鹿児島市鴨池新町10-1	099(286)2544
沖縄県金融広報委員会	〒900-8570	那覇市泉崎1-2-2	098(866)2187

くらし塾 vol.24
さんゆう塾

平成25年4月発行

- 編集・発行
金融広報中央委員会
- 編集協力
廣告社株式会社

©金融広報中央委員会 禁無断転載

編集 後記

春を迎え、表紙絵のようにお花見を楽しんだ方も多いのではないのでしょうか。今号のインタビューでは、田部井淳子さんに、世界最高峰への登山体験とともに、季節により表情を変える自然の素晴らしさについてもお話いただきました。春の陽気に誘われて戸外へと出掛けてみれば、近くの野山や見慣れた街角にも、新たな発見があるのではないのでしょうか。

*本誌は全国の金融広報委員会等でお配りしています。個人の方の定期購読はお取り扱いしておりませんのでご了承ください。

*なお、既刊号全号をPDFファイル形式で「知るぽると」ホームページ上に掲載していますのでご利用ください。

<http://www.shiruporuto.jp/about/kurashijuku/>

中学生・高校生・教育関係者を対象とする

作文・小論文コンクールの審査結果

金融広報中央委員会では、中学生や高校生に金融・経済への関心を高めていただくこと、また教育関係者の方々の間でこれからの時代に求められる金融教育のあり方について議論を深めていただくことを目的として、毎年、作文・小論文コンクールを実施しています。厳正な審査の結果、今年度は以下の方々が上位に入選されました。全入賞者の氏名等および上位入賞作品は、知るぽるとホームページ（<http://www.shiruporuto.jp/>）でご覧いただけます。

■第45回「おかねの作文」コンクール 特選



応募総数：3,126 編

金融担当大臣賞	生き方につながるお金の使い方 芳川 真穂さん（東京都 学習院女子中等科 3年）
文部科学大臣賞	イギリスで貯めたお小遣い 瀬崎 章吾さん（東京都 中野区立北中野中学校 2年）
日本銀行総裁賞	トランペット魂の導き 石田 彩果さん（千葉県 浦安市立明海中学校 3年）
日本PTA全国協議会会長賞	我が家の「生きたお金」 松浦 史さん（宮崎県 宮崎第一中学校 3年）
金融広報中央委員会会長賞	思いやりの価値 荒井 佑奈さん（静岡県 浜松市立三方原中学校 2年）

■第10回「金融と経済を考える」高校生小論文コンクール 特選



応募総数：2,062 編

金融担当大臣賞	見えること見えないこと 加地 由華さん（愛媛県 愛媛県立新居浜南高等学校 2年）
文部科学大臣賞	働くということ 向江 梨見さん（大分県 大分東明高等学校 2年）
日本銀行総裁賞	「賢い消費者になる」ために 城内 香葉さん（静岡県 静岡県立清水東高等学校 3年）
全国公民科・社会科学教育研究会会長賞	不便な生活の中に見えてくる本当の快適さ 赤峰 希美さん（大分県 大分東明高等学校 2年）
金融広報中央委員会会長賞	森林価値の再発見 永田 真理奈さん（静岡県 静岡県立浜松西高等学校 1年）

■第9回 金融教育に関する小論文・実践報告コンクール 特賞・優秀賞



応募総数：40 編

特賞 【小論文部門】	学校における金融教育の成果—お金の管理の視点から— 飯嶋 香織さん（兵庫県 神戸山手大学現代社会学部准教授）
優秀賞 【小論文部門】	経済ニュースから学ぶ金融経済教育～生きた経済を学ぶためには～ 一ノ瀬 藤明さん（栃木県 佐野日本大学中等教育学校教諭）
優秀賞 【小論文部門】	生徒発想主導型金融教育への接近 —「伝え・学ぶ」から「考え・行動する」金融教育へ— 岩村 夏樹さん（神奈川県 神奈川県立厚木商業高等学校商業科教諭） 勝山 光仁さん（神奈川県 神奈川県立厚木商業高等学校商業科教諭）
優秀賞 【実践報告部門】	お金の三つの役割の学習 池田 恭浩さん（京都府 京都教育大学附属桃山小学校教諭）
優秀賞 【実践報告部門】	地理的・歴史的的分野に取り入れた経済・金融教育の実践について 奥村 光太郎さん（京都府 京都市立伏見中学校教諭）

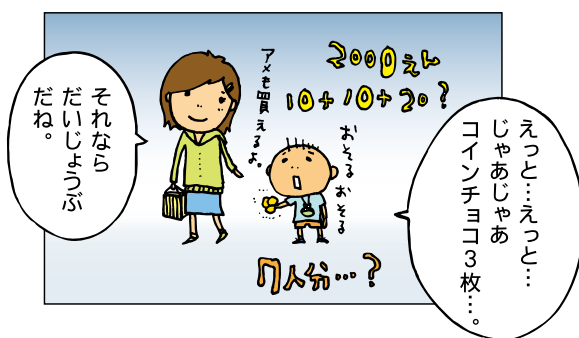
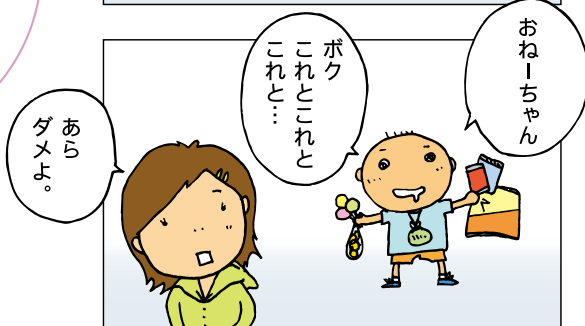
■これらのコンクールは、2013年度も実施(6月頃募集開始)予定です。多数のご応募をお待ちしております。

知るぽるとホームページの楽しい親子向けコンテンツです！

おかねのね

ももた
百太の分は？

知るぽるとホームページ
おかねのね
おかねのつかい方道場
(小学3・4年生)より。
年齢相応のお金の管理が
できるように
まかせてみましょう。



おかねししやうがおかねについて、いろいろ教えてくれるよ。
おかねについて、くわしくならう！

おかねのね

検索



おかねししやう師匠

小学生を対象とした教材で、ご家庭で保護者と一緒に楽しくお金の知識を学べます。
68テーマについて、4コマまんがと子ども向けページ、大人向け解説ページがあります。
親子で一緒に、クイズに挑戦したり、ワークをやってみませんか？